

2025
年度版

漢検®

後援：文部科学省

漢検団体受検 ハンドブック

申し込みから結果到着まで、この一冊でわかる。

1年間、大切に保管してください。

目次

漢検の概要	P.1	結果について	P.20
検定日程	P.2	結果についてのQ&A	P.22
準会場受検の流れ	P.3	団体公開会場受検	P.23
日本漢字能力検定 準会場規程	P.5	団体公開会場受検についてのQ&A	P.24
申し込みについて	P.7	各種制度について(準会場・公開会場共通)	P.25
志願者情報の有無について	P.8	特別欠席制度について	P.27
検定料の支払いについて	P.9	特別欠席についてのQ&A	P.28
繰越者を含む申込方法	P.10	特別欠席申請書	P.30
準備から申し込みまでのQ&A	P.11	付録：「漢検」検定日当日のご案内	P.32
実施について	P.16	宛名ラベル	P.33
実施についてのQ&A	P.18	結果到着後の氏名訂正依頼書	P.34
		Q&A索引	P.35

重要

2025年度からの主な変更点

- ・申込受付完了のお知らせは「団体サポートサイト」でお知らせします。→P7
- ・表彰支援制度が新しくなります。→P25
- ・特別欠席制度「3.公式大会への出場」の大会要項の提出が不要になります。→P27

ご不明点や資料のご請求は、お気軽に下記へご連絡ください。

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 <https://www.kanken.or.jp/kanken/>

お問い合わせ窓口 ☎0120-509-315(無料) 音声ガイダンスに従って「準会場についてのお問い合わせ」は「1」を押してください。

お問い合わせ時間：月～金 9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く) ※検定日とその前日の土、日は開設 ※検定日は9:00～18:00

メールフォーム：【漢検ホームページ】お問い合わせ <https://www.kanken.or.jp/kanken/contact/>

FAX番号 075-532-1110

■本 部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地



メールフォームは
こちらから



全国各地の教育委員会が後援！詳しくはこちら▶



漢検の概要

紙（ペーパー）での受検

団体受検

受検種別	準会場受検	団体公開会場受検
受検種別詳細	設置条件を満たしている学校や団体が、自ら団体受検用の会場と責任者を設け実施する。	個人受検者のために設けられた会場での受検だが、申し込みは団体の担当者がまとめて行う（結果も担当者宛にまとめて届く）。
設置条件 / 申込資格	●学校教育法に定める学校（専修・各種学校を含む）、各省庁所轄の学校および官公庁 ●上記以外の団体（塾や企業など）は、協会に準会場設置申請をして承認を得る。 ●「準会場規程」（P.5）の記載内容を遵守することができる団体	申込担当者（未成年・学生は不可）を必要とする。
検定会場	準会場（設置条件を満たしている学校や団体が自ら設けた団体受検用の会場）	公開会場（当協会または当協会と特別に提携した機関が一般の受検者のために設けた会場）
受検可能級	2級～10級	1級～10級 ※3級以上を受検する方は、検定当日に顔写真の持参が必要
申込条件	2級～10級の準会場での志願者が合計 10名 以上 「準会場規程」（P.5）の遵守を誓約すること	1級～10級の公開会場での志願者が合計 10名 以上
検定日程 （次ページ参照）	協会が用意する日程の中から選択 2025年度 13日程 ※詳細は漢検ホームページを参照 ●注意 用意した日程以外で実施した場合は全員失格	協会が用意する日程の中から選択 年3日程（日曜日）
検定時間	2～7級：60分 8～10級：40分 実施曜日によって異なる。 平日・土曜日 ▶ 開始時刻は問わない。 日曜日 ▶ 公開会場と同日のため、公開会場の検定時間に準ずる。 ※詳細はP.5、P.6	1～7級：60分 8～10級：40分 公開会場検定時間 ※詳細はP.23
検定料控除制度	団体の経費負担を補助する制度 検定料から以下が控除できる。※詳細はP.9 ・事務連絡費（検定料総額の5%） ・準会場実施経費 ●注意 志願者から検定料を割り引いて集金することは不可	団体の経費負担を補助する制度 検定料から以下が控除できる。 ・事務連絡費（検定料総額の5%） ●注意 志願者から検定料を割り引いて集金することは不可
合否の通知	準会場実施から 30～35日後 を目安に受検者全員分の検定結果資料が一括で担当者に発送される。	公開会場の検定日から 約40日後 を目安に受検者全員分の検定結果資料が一括で担当者に発送される。
申込方法	P.7 ▶	P.23 ▶
検定料払込方法	検定日の約2週間前に発送される専用の払込票で、検定日前日までに払い込む。	準会場受検 はP.9 ▶ 団体公開会場受検 はP.23 ▶

個人受検

検定会場	公開会場（当協会または当協会と特別に提携した機関が一般の受検者のために設けた会場）
受検可能級	1級～10級 ※3級以上を受検する方は、検定当日に顔写真の持参が必要
受検資格	制限なし
受検票と 検定結果資料	志願者へ直接送付

個人受検 申込方法

インターネットで申し込む（スマートフォンからも申込可能）。

<https://www.kanken.or.jp/kanken/>

※個人受検の申込方法や申込受付期間は漢検ホームページをご覧ください。

コンピューターでの受検（漢検オンライン・漢検 CBT）

詳しくはこちら ▶

検定資格のレベルや認定は従来の漢字検定※と同じです。 ※従来の漢字検定：問題用紙・解答用紙を用いて実施する漢字検定を指します。



漢検オンラインとは

個人受検

団体受検

※2級～10級対応

- 漢検オンラインとは、パソコンやタブレットを使ってインターネット経由で漢検を受検するシステムです。
- 受検環境の整った任意の場所（学校・塾・自宅等）で受検可能です。
- 通常の検定日に限定されず、団体受検（漢検準会場）の場合は自由に検定日を設定していただけます。
- 合否結果は検定日のおよそ14日以降に検定結果通知PDFを発行。
※合格者には合格証明書PDF、オープンバッジを発行します。



漢検 CBT とは

個人受検

※2級～7級対応

- 漢検CBT（Computer Based Testing）とは、コンピューターで漢検を受検できるシステムです。
- このシステムを導入している検定会場で受検可能です。
- 通常の検定日に限定されず、都合の良い日を選んで受検できます。
※実施日と開始時間は、会場によって異なります。
- 合否結果は検定後10日程度を目安に発送。



検定日程

2025年度

団体受験の申込条件を検定日ごとに満たせば、同一回の複数検定日にお申し込みいただけます(検定問題は検定日ごとに異なります)。

例)2025年度 第2回検定 10月24日(金)10名 11月7日(金)10名

		検定日	受付開始日	申込締切日(協会必着)		会場	検定級
				郵送・FAX	インターネット		
団体受験	第1回	2025年 6月13日(金)	2025年 3月1日(土)	2025年 5月15日(木)	2025年 5月19日(月)	準会場	2~10級
		2025年 6月15日(日)★		2025年4月15日(火)		公開会場	1~10級
		2025年 6月28日(土)		2025年 5月15日(木)	2025年 5月19日(月)	準会場	2~10級
		2025年 7月 4日(金)		2025年 5月29日(木)	2025年 6月 2日(月)	準会場	2~10級
	第2回	2025年 8月21日(木)	2025年 7月1日(火)	2025年 7月22日(火)	2025年 7月25日(金)	準会場	2~10級
		2025年10月19日(日)★		2025年8月7日(木)		公開会場	1~10級
		2025年10月24日(金)		2025年 9月17日(水)	2025年 9月19日(金)	準会場	2~10級
		2025年10月25日(土)		2025年 9月22日(月)	2025年 9月26日(金)	準会場	2~10級
		2025年10月25日(土)		2025年 9月24日(水)	2025年 9月29日(月)	準会場	2~10級
		2025年11月 7日(金)		2025年10月 7日(火)	2025年10月10日(金)	準会場	2~10級
	第3回	2026年 1月23日(金)	2025年 11月1日(土)	2025年12月17日(水)	2025年12月22日(月)	準会場	2~10級
		2026年 1月31日(土)		2025年12月25日(木)	2026年 1月 5日(月)	準会場	2~10級
		2026年 2月 6日(金)		2026年 1月 6日(火)	2026年 1月 9日(金)	準会場	2~10級
		2026年 2月15日(日)★		2025年12月4日(木)		公開会場	1~10級
				2026年 1月15日(木)	2026年 1月19日(月)	準会場	2~10級

- ・いかなる場合も同一級は同一時間に実施してください(同じ級を複数の時間で実施することはできません。併願者がある場合は、時間の設定にご注意ください)。
- ・日曜日(★の日程)に準会場受験を実施する場合の検定時間は、公開会場の検定時間に準じて実施してください。
- ・準会場のお申し込みには「準会場規程」(P.5)の遵守を誓約する必要があります。

各級の程度・合格基準・検定時間・検定料

級	レベル・対象漢字数	級の目安	合格基準	検定時間	準会場検定料	公開会場検定料
1級	大学・一般程度 (約6,000字)	※1級・準1級は、 公開会場でのみ実施	200点満点 80%程度	60分		6,000円
準1級	大学・一般程度 (約3,000字)		200点満点 80%程度	60分		5,500円
2級	高校卒業・大学・一般程度 (2,136字)	常用漢字が全て読み書き 活用できるレベル	200点満点 80%程度	60分	3,500円	4,500円
準2級	高校在学程度 (1,951字)		200点満点 70%程度	60分	2,500円	3,500円
3級	中学校卒業程度 (1,623字)	中学生	200点満点 70%程度	60分	2,500円	3,500円
4級	中学校在学程度 (1,339字)		200点満点 70%程度	60分	2,500円	3,500円
5級	小学校6年生修了程度 (1,026字)	小学生	200点満点 70%程度	60分	2,000円	3,000円
6級	小学校5年生修了程度 (835字)		200点満点 70%程度	60分	2,000円	3,000円
7級	小学校4年生修了程度 (642字)		200点満点 70%程度	60分	2,000円	3,000円
8級	小学校3年生修了程度 (440字)		150点満点 80%程度	40分	1,500円	2,500円
9級	小学校2年生修了程度 (240字)		150点満点 80%程度	40分	1,500円	2,500円
10級	小学校1年生修了程度 (80字)		150点満点 80%程度	40分	1,500円	2,500円

※検定料は税込み。

※団体公開会場受験には公開会場における検定料を適用します。

準会場受験の流れ

2級～10級の準会場での志願者が合計 **10名** 以上必要

資料到着	検定日 約2か月前	申込 締切日 検定日 約1か月前	請求書兼 払込票到着 検定日 約2週間前	問題・答案 到着 検定日 数日前
準備 ▶ P.3	案内・募集 ▶ P.3	申し込み ▶ P.7	検定料払込 ▶ P.9	検定実施準備 ▶ P.16
● 検定日や受付期間を決定 ◆ 検定日程(P.2) ● 検定日・受付期間・申込方法を案内 ● 「受検案内」と「検定料納入袋」を配布し、「ポスター」を掲示	● 申込用紙・検定料を集める ● 「準会場規程」(P.5)の遵守を誓約し、申込締切日(協会必着)までに申し込む ◆ 繰越者を含む申込方法(P.10) ※申込内容の変更についてはP.13 Q.14をご確認ください。 ● 「団体専用ページ」にて申込受領状況を確認	● 検定料を払い込む(検定日前日まで／請求書兼払込票を使用)	● 問題・答案用紙・「準会場の手引き」の内容・部数を確認 ◆ 「準会場の手引き」 検定実施の流れや注意点などが記載されています。運営に携わる方は、検定日当日までに必ずお読みください。 ● 志願者へ、会場(教室)や集合時間を連絡 ● 会場(教室)の準備	
「団体専用ページ」 でできること	・過去の受検結果の確認 ・繰越者の確認	・インターネット申込 ・FAX・郵送申込の協会受領状況の確認	・請求書兼払込票の発送予定日の確認	・検定問題の発送予定日の確認 ・検定実施に関する書類のダウンロード

準備・案内・募集には、当協会が発行している

STEP 1

団体内で漢検についての情報や実施の目的を共有し、検定日や受付期間を決定する



■ 漢検 楽々運営ガイド

漢検の実施にあたり、知っておくとスムーズに運営できる情報をまとめています。

STEP 2

児童・生徒へ検定日や受付期間・申込方法を案内する



■ 受検案内

手渡しで全員に配布!

広く均等に情報提供するために、全児童・生徒への配布をお勧めします。また、**受検動機として「先生に勧められたから」**をあげる児童・生徒が多いため、一言添えて手渡しするとより効果的です。

※資料画像はイメージです

◆「漢検 団体サポートサイト」のご紹介

ここから
アクセス!▼

学習プリントや検定実施に便利なツールのダウンロードが可能! 各種申請もオンラインで!

- ・学校課題解決のためのモデル
- ・検定実施サポートツール
- ・検定日程別詳細スケジュール
- ・協会トピックス
- ・各種オンライン申請・オンライン発注 など

<https://www.kanken.or.jp/dan-sprt/>漢検ホームページにて
標準解答確認結果資料
発送

検定日当日

検定日
約5日後検定日
約25日後検定日
30~35日後

検定実施

▶ P.17

結果について

▶ P.20,21

- 「準会場規程」を遵守し、「準会場の手引き」に沿って検定を実施

◆準会場規程

違反した場合は当該準会場の受験者全員を失格とし、協会が主催するすべての検定の準会場認定を取り消すことがあります。P.5を必ずご確認ください。

※申込間違い(受験級の間違い/申込漏れ)がある場合はP.19のQ.32をご確認ください。

※欠席者への返金はできません。

※準会場の実施状況を確認するため、協会関係者が全国の準会場を訪問しています。訪問する場合は、事前にご連絡します。ご協力をお願いします。

- 受験者分の答案用紙などを協会へ返送

※問題・答案用紙に同梱される「答案用紙返送用 着払伝票」をご使用ください。

- ・協会での答案受領日の確認
- ・合否結果の公開予定日の確認

- WEB合否結果公開開始
※ご担当者様のみ閲覧可能です(受験者が閲覧することはできません)。

- ・合否結果の確認

- 検定結果資料・標準解答を受検者へ配付(欠席者には標準解答を配付)

- ・検定結果資料の発送予定日の確認
- ・繰越者の確認

パンフレットやツールの活用が便利です!

※画像は全てイメージです。

■ポスター



全教室・廊下や階段へ掲示!

検定日や締切日を記載したポスターを掲示することで、児童・生徒の申込忘れを防ぎます。

STEP 3

志願者から申込用紙と
検定料を集める

■封筒各種

受験案内とともに配布することで、集金の際の手間を軽減できます。

◆団体専用ページについて

「検定の申し込み」「合否の確認」「過去の受験情報の照会」など、検定に関する情報を管理しやすくした団体ご担当者様向けのインターネットサービスです。申込方法に関わらず、すべての団体様にご利用いただけます。漢検ホームページ(<https://www.kanken.or.jp/kanken/>) からアクセスしてください。

日本漢字能力検定 準会場規程

2024年1月31日改定

この規程(以下、本規程)は、公益財団法人 日本漢字能力検定協会(以下、協会)が主催する日本漢字能力検定(以下、検定)の「準会場」受験について、その基本的事項を定めることにより、検定の厳正さ・公平さを保つことを目的としています。

団体責任者および実施責任者は、準会場での検定実施にかかる一切の責任を負うこととなります。実施責任者は本規程に従い、厳正かつ公平に検定を実施してください。協会関係者が全国より任意に選出した準会場を訪問し、実施状況などについて確認することがあります。本規程に違反した場合は、当該準会場の受験者全員を失格とします。また、協会が主催するすべての検定について、準会場の認定を取り消すことや、悪質な場合には協会が法的手段を講じることがあります。

第1章 準会場について

1. 準会場の定義

- ・本規程における「準会場」とは、次を指します。
 - ①学校教育法に定める学校(専修・各種学校を含む)、各省庁所轄の学校および官公庁
 - ②前号以外の団体で、協会に準会場設置申請をして承認を得たもの

2. 準会場の要件

- ・「準会場」として協会が認定するためには、申請団体が以下の要件を備えることを必要とします。
 - ①検定実施に適した会場(教室・部屋)を自ら用意できること
 - ②団体責任者および実施責任者、その他検定受験人数に応じた監督者等を用意できるなど、検定を厳正に運営できる体制が整っていること
 - ③団体責任者および実施責任者は成人であること(学生不可)
 - ④本規程の遵守を誓約できること
 - ⑤検定申込の際に、その条件である人数以上の志願者を集められること
 - ⑥協会、志願者および保護者等、関係者からの問い合わせに対応できること
 - ⑦その他、協会の指示・通知等を遵守できること

3. 準会場の遵守義務

- ・「準会場」は、以下の事項を遵守する必要があります。
 - ①本規程に従い、厳正かつ公平な検定運営を行うこと
 - ②検定志願者募集に際しては、準会場であることを明確にし、公開会場であるとの誤認を招かないよう努めること

4. 準会場認定の取り消し

- ・協会は、準会場が以下の事項に該当する場合、その認定を取り消すことがあります。
 - ①準会場より認定取り消しの申し出があったとき
 - ②本規程に違反する行為が認められたとき
 - ③検定料の支払いを遅滞し、督促したにも関わらずこれに応じないとき
 - ④準会場設置申請の内容に虚偽の記載があったとき
 - ⑤反社会的勢力との関わりが判明したとき
 - ⑥その他、準会場実施を継続するうえで好ましくない行為と協会が判断し、改善を求めたにも関わらずこれに応じない、もしくは改善されないとき

5. 個人情報の取り扱い

- ・実施責任者は検定に関する個人情報については、適正に管理し、漏洩などの問題が生じた場合には、その一切の責任を負うこととなります。
- ・団体受験において得た個人情報(合否結果、成績など)を利用する(合格者一覧の掲示、合格級を内申書に記入する、検定結果を進路指導に利用する等)場合は、その利用内容について志願者(16歳未満の場合は志願者および保護者)の同意を得なければなりません。

第2章 準会場実施について

1. 検定日

- ・問題用紙、答案用紙に記載された検定日以外に実施してはなりません。いかなる例外も認められません。

2. 検定実施時間

- ・検定は次の時間で行ってください。2～7級:60分間、8～10級:40分間
- ・遅刻した受験者も他の受験者と同じ時刻に終了しなければなりません。また、検定開始後30分(8～10級は20分)未満の途中退室者は棄権(答案は無効)となります。
- ・(詳細は、「6. 遅刻者と棄権者への対応」を参照)
- ・同一級を複数の時間帯に分けて実施することは認められません。併願者がいる場合であっても、同一級の受験者は、開始時刻と終了時刻を合わせてください。また、複数会場で実施する場合も、同一級は同一時間に実施してください。
- ・開始時刻は以下のとおり設定してください。

<平日と土曜日の検定>

開始時刻は問いません。

<日曜日の検定>

公開会場と同一の問題を使用するため、下記の検定時間に準じて実施してください。ただし、許容範囲内(2～7級は公開会場の検定開始時刻より前後60分間、8～10級は前後40分間)において、開始時刻を調節することは可能です。

公開会場(日曜日)の 検定時間	8,9,10級	10:00～10:40(40分)
	2,7級	11:50～12:50(60分)
	準2,4,6級	13:40～14:40(60分)
	3,5級	15:30～16:30(60分)

例:2級は10:50～12:50の間に開始すること
8級は9:20～10:40の間に開始すること

3. 受験級

- ・いかなる場合も、同一人物が同一検定日に同一級を重複して受験してはいけません。受験した場合はいずれも失格とします。実施責任者は申込時に重複受験者がいないことを確認してください。ただし同一回の検定であっても、検定日や級が異なる場合は受験可能です。
例:一人の受験者が、同じ検定日に違う準会場で3級を2回受験することは認められません。
- ・いかなる場合も、同一人物が同一検定日・同一時間に複数級を受検してはいけません。受験した場合はいずれも失格とします。併願者がいる場合は、級ごとに検定実施時間を分けてください。(詳細は、「2. 検定実施時間」を参照)
例:一人の受験者が、同じ検定日の同じ時間帯に3級と4級を受検することは認められません。

4. 会場・監督の手配、準会場規程の理解

- ・検定の実施に適切な会場の手配をしてください。
 - ・1教室につき1名以上の監督者を配置してください。
 - ・実施責任者以外に監督者が必要な場合はその手配をしてください。
 - ・監督者全員が本規程と「準会場の手引き」を熟読し、あらかじめ検定実施の流れと要点を理解したうえで、厳正かつ公平に検定を実施してください。
 - ・監督を含め、検定問題の受け取りから答案返送までの一連の作業に関わる方は検定を受検することができません。
 - ・事前に協会の承認を得た場合を除き、会場には監督者および受験者以外の入室は認められません。

5. 不正行為の防止

- ・受験者が以下のような不正と疑わしき行為を行わないよう、厳重に監視してください。
 - ①検定開始前に問題用紙・答案用紙に手を触れる行為
 - ②携帯電話・スマートフォン(スマートウォッチ含む)やその他電子機器類の使用
 - ③参考書、問題集などの閲覧
 - ④荷物に手を触れる行為
 - ⑤監督者の指示に従わない行為上記の行為を行った者には注意を促し、指示に従わない場合や繰り返し行う場合は退場させ、失格としてください。また、明らかに不正行為が認められる場合はすぐに退場させ、失格としてください。なお、不正行為が検定日後に判明した場合は協会に連絡してください。

6. 遅刻者と棄権者への対応

<遅刻者への対応>

- ・検定開始後30分(8～10級は20分)までに到着した者には、検定残り時間での受験を許容してください。30分(8～10級は20分)経過後に到着した者は検定会場に入室させず欠席としてください。遅刻で開始時刻が遅れた受験者も、ほかの受験者と同じ時刻に終了させてください。

<棄権者への対応>

- ・検定開始後30分(8～10級は20分)未満の途中退室者は棄権とし、答案は無効としてください。ただし体調不良等考慮すべき点が大きい場合は棄権とせず、答案は有効とし、退室を許可してください。再入室はできません。

7. 検定料

- ・協会が公式WEBサイト等で公開する申込締切後の欠席者・失格者・棄権者に対する返金や申し込みの取り消しは、入金の有無に関わらず、いかなる理由であっても行いません。
- ・検定料の払い込みが確認できない場合、検定結果資料の発送やWEB合否結果の公開、次の検定申込ができません。

8. 問題用紙と答案用紙の取り扱い

<取り扱い・保管>

- ・問題用紙、答案用紙は検定日までに受け取ってください。
- ・問題用紙、答案用紙、その他の送付物は到着後に枚数と内容を確認し、確認後は検定開始まで、問題の内容(出題形式を含む)について一切漏洩が無いよう鍵のかかる場所で厳重に保管してください。
- ・送付した答案用紙以外(コピーした答案用紙や他の会場番号・団体名が印字された答案用紙など)や、他の受験者の氏名・生年月日が印字された答案用紙で解答することはできません。万一解答されても無効となり、採点することはできません。
- ・問題の漏洩防止のため、検定終了後、問題用紙は必ず回収し、検定日の翌日以降に受験者に返却してください。
- ・協会の許可なく問題用紙、答案用紙を複製することはできません。

<返送>

- ・受験者全員の答案用紙がそろっていることを必ず確認し、その他返送の必要な書類とともに漏れなく検定日当日または遅くとも翌日中に返送してください。連絡がなく遅れた場合、返送された答案を無効と判断することがあります。また、答案用紙を回収、返送するまでの間、解答内容に一切手を加えてはなりません。

9. 天災などの緊急時

- ・地震や火災などの緊急事態が発生した場合は、受験者を安全な場所へ速やかに避難させた後、協会に問い合わせ、指示に従ってください。
- ・検定日当日、休校や学級閉鎖により検定の実施が困難になった場合は、それが決定した時点で協会に問い合わせ、指示に従ってください。

10. 検定結果資料の取り扱い

- ・団体受験の検定結果資料はすべて申込団体へ発送します。すみやかに受け取り、受験者全員にもれなく配付してください。

以上

検定に関する補足<すべての曜日に共通>

(図1)2級受検者が2名
[Aくん・Bさん]いる場合。



同一級を
複数の時間帯に分けて
実施してはいけません。
(規程第2章第2条より)

検定に関する補足<日曜日の検定のみのみ>

(図2) 検定開始許容時間

日曜日の検定は、公開会場の検定時間に準じて実施してください。ただし、許容範囲内において、開始時刻を調節することは可能です。(規程第2章第2条より)

受験級	公開会場の検定時間(←→の部分)	開始時刻の許容範囲(□の部分)
★ 8級/9級/10級	10:00~10:40(40分)	9:20~10:40の間に開始
2級/7級	11:50~12:50	10:50~12:50の間に開始
準2級/4級/6級	13:40~14:40	12:40~14:40の間に開始
3級/5級	15:30~16:30	14:30~16:30の間に開始

←→ 公開会場実施時間 □ 開始時刻の許容範囲

検定級	検定時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
2級	60分間			11:50 ←→ 12:50					
準2級	60分間				12:40 ←→ 14:40				
3級	60分間					14:30 ←→ 16:30			
4級	60分間				12:40 ←→ 14:40				
5級	60分間					14:30 ←→ 16:30			
6級	60分間				12:40 ←→ 14:40				
7級	60分間			11:50 ←→ 12:50					
8級	40分間	9:20 ←→ 10:00							
9級	40分間	9:20 ←→ 10:00							
10級	40分間	9:20 ←→ 10:00							

(例1) 2級の検定時間

○ 11:30に一齐に開始し、12:30に終了する
× 13:00に一齐に開始し、14:00に終了する
(2級の検定開始時刻は10:50~12:50のため、13:00に開始することは不可)

(例2) 3級と4級を同時に実施する場合

○ 14:30に一齐に開始し、15:30に終了する
× 15:00に一齐に開始し、16:00に終了する
(4級の検定開始時刻は12:40~14:40のため、15:00に開始することは不可)

許容時間についてのご不明点は協会までお問い合わせください。

日本漢字能力検定(漢検 PBT)受検規約(抜粋版)

●受検資格

協会は、申込者、代理人、受検者または団体受検実施責任者が以下に掲げる事由に該当する場合、漢検の申し込みまたは受検をお断りする場合があります。

- ① 申込内容に虚偽の記載が認められたとき
- ② 検定料の支払いを怠った、または支払いを怠るおそれがあると協会が判断したとき
- ③ 漢検を利用して第三者の権利を侵害し、または違法行為をなすおそれがあると協会が判断したとき
- ④ 申し込みが、漢字能力を測定するという漢検の目的から逸脱していると協会が判断したとき
- ⑤ 反社会的勢力に属している、または関係があると認められるとき
- ⑥ 協会職員その他の関係者に対して、暴力的行為を行い、合理的範囲を超える負担を要求し、または脅迫的言辞を用いたとき
- ⑦ 風説を流布し、または偽計もしくは威力を用いて、協会の信用を毀損または業務を妨害したとき
- ⑧ 本規約に違反する行為があったとき
- ⑨ その他、協会が不適当と判断したとき

●準会場受検・団体公開会場受検 留意事項

- (1) 準会場受検もしくは団体公開会場受検の場合、受検申し込みは団体受検実施責任者を通じて行いますので、申し込みに必要な書類・検定料は、団体受検実施責任者に提出してください。
- (2) 準会場受検もしくは団体公開会場受検で申し込まれた受検者(または受検者の保護者等関係者)の方からの、協会への直接のお問い合わせは承れませんので、団体受検実施責任者へお尋ねください。
- (3) 協会が公式ウェブサイト等で公開する「準会場受検」「団体公開会場受検」の申込締切日は、「準会場受検」「団体公開会場受検」を実施する学校等団体が協会へ申し込む際の締切日です。申込

者が団体へ申し込み際の締切日とは異なりますので、団体受検実施責任者へお尋ねください。

- (4) 団体が、協会の定める「準会場規程」に違反した場合、検定の結果が無効になることがあります。

●検定問題漏えいの禁止

検定問題の複製および検定問題の全部または一部を協会の許可なく他に伝え、漏えいすることは、一切禁止いたします(インターネット等に掲載・投稿することを含みます)。

●免責事項

- (1) 不測の事態(天災地変、感染症の流行等)が発生した場合には、受検者の安全を考慮して検定を中止することがあります。その場合でも検定料の返金や振り替えはできません。また、その場合において、協会はいかなる責任も負いません。
- (2) 前項の他に、協会が検定の中止、変更、遅滞をせざるを得ない場合、または適正な採点、評価が行えない等の不測の事態が生じた場合、協会は、必要な措置を講じるものとします。
- (3) 次の各号について、協会は一切責任を負いません。
 - ① 申込者(代理人を含む)および受検者(付添者を含む)間のトラブル等
 - ② 検定会場内および検定会場への往復途上における受検者(付添者を含む)の事故、体調急変またはそのおそれ

●責任の制限

いかなる場合においても、協会が受検者に対して負う責任は、当該受検者が実際に支払った検定料額を上回るものではありません。

●本規約の変更

協会は本規約を予告することなく変更することがあります。当該変更については、協会の公式ウェブサイトまたは協会発行の各媒体に掲載された時点より効力が生じるものとします。

受検規約全文はこちらから
ご確認くださいませ。→



申し込みについて

※団体公開会場受検の申し込みは P.23 へ

「準会場規程」(P.5)の遵守を誓約し、下記3つのうちから1つだけ選択し、申し込む(締切日必着)

注意

- ・申込締切日を厳守してください。締切日を過ぎて到着したものは受け付けできません。
- ・FAXの重複送信にご注意ください。1つの検定日に対し、複数回申込書を送信すると重複して請求書が届く可能性があります。※申込内容に変更がある場合は、下記「申込内容の変更方法」をご覧ください。
- ・複数の団体や教室を取りまとめてお申し込みされる場合は、お手続きがございました。詳しくは協会までお問い合わせください。
- ・どのようなご事情があっても、申込締切日翌日以降の内容変更はできません。

おすすめ
申込内容がすぐ
確認できて
安心・便利

インターネット (団体専用ページ)



漢検 検索

「団体専用ページ」にアクセスし、「団体受検申込」からお申し込みください。ログインには会場番号・パスワードが必要です(パスワードがわからない方はP.12のQ.10参照)。



* <https://www.kanken.or.jp/kanken/> からアクセスしてください。ログイン画面から「インターネット申込手順マニュアル」がダウンロードできます。

手 順

特 長

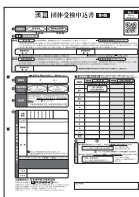
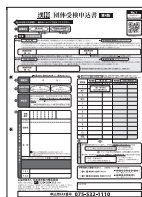
- 締切日当日まで申し込みができます。
- 締切日当日までご担当者様自身で申込内容を変更できます。
※いずれも日付が変わる前に申し込みを変更・完了させてください。
- 申込完了の都度、申込完了メールが到着します。
- 締切日翌日に、申込内容の確定メールが到着します。

郵送



協会締切日必着

- 申込必要書類を郵便または宅配便で一括送付してください。
- 団体受検申込書 No.1・2
- 志願者全員分の協会行準会場用申込用紙B



※志願者情報「有」の場合のみ

- 志願者から集めた申込用紙をそのまま送付することができます。

送 付 先 協会本部(京都)

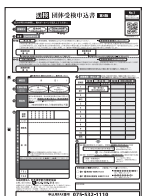
※送料は貴団体負担です。付録(P.33)の宛名ラベルをご使用ください。宛名ラベルを利用しない場合や宅配便で送付する場合は、封筒の表に「団体受検申込」と明記してください。
※協会では申込書送付用の専用封筒をご用意しています。必要な場合は協会へご連絡ください。

FAX



FAXしやすいように申込必要書類をコピーしてから送信してください。
※協会行準会場用申込用紙Bは縦に5枚並べてコピーするとA4サイズになります。

- 団体受検申込書 No.1
- 志願者全員分の協会行準会場用申込用紙B



※志願者情報「有」の場合のみ

- 締切日当日まで申し込みができます。

FAX番号 075-532-1110

申込受領状況の確認方法 ※申し込んだ検定日が合っているか必ずご確認ください。

●「団体専用ページ」で確認

郵送・FAXで申し込む場合は、協会に申し込みが到着した翌営業日以降に団体専用ページで申込受領状況を確認することができます。また、申込締切日の約2週間後には志願者情報も確認できるようになります。

変更点

2025年度より「申込受付完了のお知らせ」は全団体の申込受付が完了しましたら、団体サポートサイトのお知らせでご案内いたします(申込締切日の約2週間後)。

※FAXによる申込受付完了のお知らせはございません。

受領済と表示されます

申込内容の変更方法

- 申込締切日当日まで P.13のQ.14をご覧ください。
- 申込締切日翌日以降 P.19のQ.32をご覧ください。

会場	準会場	準会場		
検定日	2020/10/31(土)	2020/02/08(土)		
申込締切日	2020/10/05(月)	2020/01/08(水)		
申込受領状況	受領済	受領済		
請求書発送予定日(※1)	2020/10/14(水)	2020/01/23(木)		
受検票発送予定日				
問題発送予定日(国内会場)	2020/10/26(月)	2020/02/03(月)		
寄席空席日	2020/11/02(月)	2020/02/12(水)		
標準解答公開予定日	2020/11/05(木)	2020/02/13(木)		
請求書(追加)発送予定日(※2)	2020/11/28(土)	2020/03/04(火)		
合否結果公開予定日時	2020/11/27(金) AM 10:00 ~	2020/03/03(火) AM 10:00 ~		
検定結果資料・標準解答発送予定日(国内会場)	2020/12/04(金)	2020/03/09(月)		

志願者情報の有無について ※どちらを選択しても検定結果資料は同じものです。

注意

志願者の中に繰越者*が含まれる場合は、志願者情報「有」を選んでください。

* 繰越者とは、以前の実施の際に特別欠席(P.27)を申請し、承認された欠席者のことです。

繰越者を含むお申し込みの場合はP.10をご覧ください。

志願者情報「有」

検定前の準備・当日の実施が簡単です!

申し込みに必要な情報 級別志願者数・全志願者の「受験級」「氏名」「フリガナ」「生年月日(西暦)」「性別(※任意)」

■ 志願者の「氏名」「生年月日(西暦)」が、あらかじめ答案用紙に印字されます。

※他人の答案用紙を使用して受験することはできません。万一、別の方が受験された場合、その答案は無効となり採点ができません。

■ 問題送付時に受験者の名簿をお届けします。受験者の出欠確認等にご活用ください。

● 受験者名簿(級別)

学年・組に関わらず、受験級ごとに受験番号順で出力されます。

受験級	番号	受験者氏名	出欠	備考	受験級	番号	受験者氏名	出欠	備考
2級	200001	赤井 太郎			準2級	210001	青井 三郎		
2級	200002	伊藤 花子			準2級	210002	今井 桃子		
2級	200003	上田 次郎			準2級	210003	植木 菊子		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

※並びのイメージ

志願者が合計30名以上かつご希望の団体様におのみ、以下の名簿も一緒にお送りします。

● クラス単位の受験者名簿

学年・組・受験級ごとに受験番号順で出力されます。

※学年・クラスは、アルファベット(大文字・小文字)と数字で区別されます。高校生と中学生と一緒に申し込む場合などは学年の前にアルファベットをつけることで区別をしてください。

受験級	番号	受験者氏名	出欠	備考	受験級	番号	受験者氏名	出欠	備考
		(3-1)					(3-2)		
2級	200001	赤井 太郎			2級	200003	上田 次郎		
2級	200002	伊藤 花子			2級	200004	江藤 桜子		
準2級	210001	青井 三郎			準2級	210003	植木 菊子		
準2級	210002	今井 桃子			準2級	210004	榎本 四郎		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

※並びのイメージ

受験番号の振り方について

受験番号の振り方は申込方法により異なります。

● インターネット申込(団体専用ページ)

申込画面での受験級ごとの表示順(画面上で並べ替えが可能)

● 郵送またはFAX申込

通常: 受験級ごとに、男女混合の五十音順

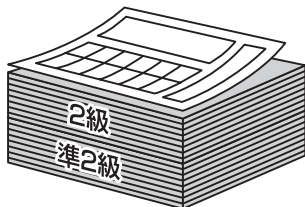
クラス単位の受験者名簿を希望する場合: 受験級ごとに、クラスごと、男女混合の五十音順

クラス単位の受験者名簿を「希望する」場合、検定結果資料はクラスごと、受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包してお届けします。

問題・答案用紙の梱包順序について

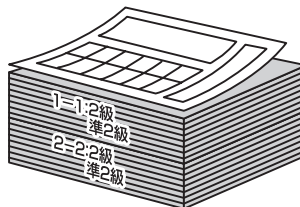
志願者30名未満の場合

受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包



志願者30名以上かつクラス単位の名簿を「希望する」場合※

受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包
もしくはクラスごとに、受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包



※申込時に選択してください。

※1クラス分が2～7級と8～10級で分かれています。

志願者情報「なし」

申込準備が簡単です!

申し込みに必要な情報 級別志願者数

■ 志願者の「氏名」「生年月日(西暦)」等は、検定当日に受験者が答案用紙に記入します。

※検定結果通知や合格証書等の氏名は、受験者が答案用紙に記入した情報をもとに印字します(ひらがなや略字で書かれた場合でも、そのまま印字します)。

※氏名の漢字についてのおことわり

答案用紙や検定結果資料への氏名の印字にはJIS2004第1・第2水準の漢字と人名用漢字を使用しています。そのため、その他の漢字が氏名に含まれている場合は答案用紙への氏名の印字はできず、空白や「●」に置き換えています(検定結果資料は記載のとおり印字します)。当日正しく書き直してください。書き直す際の詳しい記入方法は、問題・答案用紙に同梱している「準会場の手引き」をご確認ください。

検定料の支払いについて

申込時の級別人数、事務連絡費・準会場実施経費の希望状況をもとに団体ごとの請求額を算出し、検定日の約2週間前に「三井住友カード株式会社 決済ステーション 払込票発送担当」より請求書兼払込票(専用の払込票)をお送りします。金額をご確認のうえ、検定日前日までに払い込んでください。金額に誤りがある場合は、早急に協会までご連絡ください。請求書兼払込票はゆうちょ銀行またはコンビニエンスストアでご利用いただけます。

※請求書兼払込票(専用の払込票)での検定料の支払いが困難な場合や、団体内での検定料や控除金の取り扱いについてお困りの場合は、P.14のQ&A(Q.16以降)をご確認ください。

検定料控除制度について

団体の経費負担を補助する検定料控除制度があります(志願者から検定料を割り引いて集金することは不可)。

● **通常、検定料総額から事務連絡費と準会場実施経費を差し引いてご請求いたします。**

事務連絡費(検定料総額の5%)は通信費、準会場実施経費(下記一覧参照)には検定当日の会場費・監督料・運営費などを含みます。

■ 計算方法

$$\text{検定料総額 (新規志願者から集金)} - \left(\text{事務連絡費 (検定料総額の5\%)} + \text{準会場実施経費 (右表参照)} \right) = \text{請求額}$$

■ 計算例

例1 新規志願者3級(2,500円)10名
事務連絡費・準会場実施経費を差し引いて支払う場合

$$\text{検定料総額 } 25,000\text{円} - \left(\text{事務連絡費 } 1,250\text{円} + \text{準会場実施経費 } 2,000\text{円} \right) = \text{請求額 } 21,750\text{円}$$

(2,500円×10名) (25,000円×5%)

例2 新規志願者3級(2,500円)9名、繰越者3級1名の計10名
事務連絡費・準会場実施経費を差し引いて支払う場合

$$\text{検定料総額 } 22,500\text{円} - \left(\text{事務連絡費 } 1,125\text{円} + \text{準会場実施経費 } 0\text{円} \right) = \text{請求額 } 21,375\text{円}$$

(2,500円×9名) (22,500円×5%)

● **検定料総額での支払いを選択することもできます。**

通常は事務連絡費、準会場実施経費が団体に残るよう請求します。両経費が不要の場合は、申込時に「検定料総額を支払う」にチェック ☒ をしてください。

■ 計算例

例3 新規志願者3級(2,500円)10名
検定料総額を支払う場合

$$\text{検定料総額 } 25,000\text{円} - \left(\text{事務連絡費 } 0\text{円} + \text{準会場実施経費 } 0\text{円} \right) = \text{請求額 } 25,000\text{円}$$

(2,500円×10名)

※申込締切日翌日以降に欠席が判明した場合も検定料が発生します。また、払い込まれた検定料は返金できません。

※請求書兼払込票に記載されている口座は請求書兼払込票利用のための専用口座です。協会からお送りする請求書兼払込票を使用せずに専用口座に入金することはできません。銀行振込をご希望の場合はP.15のQ.19をご確認ください。

※請求書兼払込票に印字されている金額はご担当者様の判断で訂正しないでください。

※検定料の払い込みが確認できない場合、WEB可否結果の公開や検定結果資料の発送ができません。

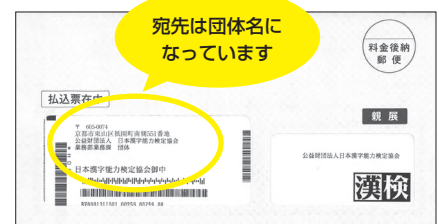
※法令により、ゆうちょ銀行で10万円を超える払い込みには団体の証明書類が必要となります。

※コンビニエンスストアでは30万円を超える払い込みができません。ゆうちょ銀行から払い込んでください。

■ 準会場実施経費一覧

新規志願者数	金額	新規志願者数	金額
10~19	2,000	160~169	32,000
20~29	4,000	170~179	34,000
30~39	6,000	180~189	36,000
40~49	8,000	190~199	38,000
50~59	10,000	200~209	40,000
60~69	12,000	210~219	42,000
70~79	14,000	220~229	44,000
80~89	16,000	230~239	46,000
90~99	18,000	以下999名まで 10名増すごとに2,000円増	
100~109	20,000		
110~119	22,000	1,000~1,029	200,000
120~129	24,000	1,030~1,059	206,000
130~139	26,000	1,060~1,089	212,000
140~149	28,000	以下30名増すごとに 6,000円増	
150~159	30,000		

※上記表の新規志願者数には、繰越者を含みません。(繰越者につきましてはP.10をご確認ください)



請求書兼払込票 送付封筒(イメージ)

準会場における受験特別措置について

身体的な理由により通常の受験方法では受験が困難である志願者に対し、特別措置(答案用紙の白黒コピーや拡大コピー、問題用紙の拡大コピー、スキャナーやマークリーダを通さず答案用紙を直接見て採点するなど)を講じています。ただし、この措置により採点基準が変わることはありません。

この特別措置による受験を希望する場合は、該当検定日の申込締切日までに所定の申請書類を提出のうえ、協会の承認を得る必要があります。提出された申請書類に不備がある場合や協会での協議の結果、承認がされないこともございますので、あらかじめご了承ください。

申請方法など詳細は協会までお問い合わせください。

繰越者を含む申込方法

繰越者とは

以前の実施の際に特別欠席(P.27)を申請し、承認された欠席者のことです。
最新の繰越者の情報は団体専用ページで確認することができます。

繰越者に関する注意事項

A. 繰越者の繰越条件	・ 繰越権利は、同一団体・同一検定内で受検する場合のみ有効です。個人受検への変更や会場番号が異なる団体で受検することはできません。 ・ 欠席した検定日と繰越受検を希望する検定日の協会締切日の期間が 3 週間以上あれば、検定回に関係なく繰り越せます。																																																		
B. 繰越者を含めて申し込む場合の注意点	・ 必ず志願者情報「有」でお申し込みください。繰越者を含め、10 名以上の志願者が必要です。 ・ 繰越者は検定料控除制度の準会場実施経費の対象に含まれません。(例:新規志願者5名＋繰越者5名の場合、準会場実施経費は0円です) ・ 繰越権利を有する志願者を新規志願者として申し込みをした場合、申込締切日翌日以降は繰越者に変更することはできません。																																																		
C. 繰越者の検定料について	・ 「特別欠席」が承認された級（当該検定において志願した級）と同じ級かつ同じ会場種別（準会場／公開会場）で申し込む場合は検定料がかかりません。 ・ 「特別欠席」が承認された級（当該検定において志願した級）と異なる級または異なる会場種別（準会場／公開会場）で申し込む場合は承認時の検定料と今回の検定料の差額を請求いたします（差額は検定料控除制度の事務連絡費の対象です）。 ※「特別欠席」が承認された級（当該検定において志願した級）の検定料より、安価な検定料の級に変更して申し込む場合、差額の返金はいたしません。 例）5 級で繰越権利を取得し、今回 4 級を申し込む場合に生じる検定料 ■ 準会場→準会場 <table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">今回申し込む級</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>準会場</th><th>4級</th><th>5級</th></tr><tr><th></th><th>準会場</th><th>検定料</th><td>2,500円</td><td>2,000円</td></tr><tr><td>特別欠席が承認された級</td><td>4級</td><td>2,500円</td><td>なし</td><td>なし ※返金はありません</td></tr><tr><td></td><td>5級</td><td>2,000円</td><td>500円</td><td>なし</td></tr></table> ■ 準会場→公開会場 <table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">今回申し込む級</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>公開会場</th><th>4級</th><th>5級</th></tr><tr><th></th><th>準会場</th><th>検定料</th><td>3,500円</td><td>3,000円</td></tr><tr><td>特別欠席が承認された級</td><td>4級</td><td>2,500円</td><td>1,000円</td><td>500円</td></tr><tr><td></td><td>5級</td><td>2,000円</td><td>1,500円</td><td>1,000円</td></tr></table> ※ 「公開会場→公開会場」「公開会場→準会場」の場合は、P.24 の Q.41 をご確認ください。			今回申し込む級					準会場	4級	5級		準会場	検定料	2,500円	2,000円	特別欠席が承認された級	4級	2,500円	なし	なし ※返金はありません		5級	2,000円	500円	なし			今回申し込む級					公開会場	4級	5級		準会場	検定料	3,500円	3,000円	特別欠席が承認された級	4級	2,500円	1,000円	500円		5級	2,000円	1,500円	1,000円
		今回申し込む級																																																	
		準会場	4級	5級																																															
	準会場	検定料	2,500円	2,000円																																															
特別欠席が承認された級	4級	2,500円	なし	なし ※返金はありません																																															
	5級	2,000円	500円	なし																																															
		今回申し込む級																																																	
		公開会場	4級	5級																																															
	準会場	検定料	3,500円	3,000円																																															
特別欠席が承認された級	4級	2,500円	1,000円	500円																																															
	5級	2,000円	1,500円	1,000円																																															

インターネット(団体専用ページ)

- 1 志願者情報選択の画面で、「志願者情報『有』」を選択してください。
- 2 志願者の情報を入力する画面で、氏名欄の横にある「繰越者」欄にチェック☒をしてください。【ア】「繰越者呼び出し」ボタンから繰越者を呼び出すこともできます。【イ】

郵送・FAX

- 1 協会行 準会場用 申込用紙(B)の繰越者欄にチェック☒もしくは名簿の備考欄に「繰越者」と記入してください。
- 2 団体受験申込書は以下の通りに記入してください。

「④志願者情報」の欄で「有 B票もしくは名簿を添えて申し込み」を選択

志願者情報	有	なし
答案用紙に氏名を印字	B票もしくは名簿を添えて申し込み	本申込書のみで申し込み

例) 新規志願者準2級3名・3級3名・4級3名と繰越者3級1名で申し込む場合
※新規志願者数の欄は繰越者を含まずに記入してください。

受検級	④-① 準会場	④-② 団体公開会場
	新規志願者数のみ	繰越者
準1		
準2	3	
3	3	1
4	3	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
合計	9	1

上記以外の箇所は通常の申し込みと同様です。

準備から申し込みまでのQ&A

Q.1～Q.23

準備

Q.1 検定日は自由に決められますか？

A

協会が用意した検定日(P.2参照)の中からお選びください。
選択した検定日以外の日に実施することは認められません。万一異なる日に実施したことが判明した場合には、
受験者全員を失格とし、準会場の認定を取り消すことがあります。

Q.2 同一回の検定を2つ以上の検定日で実施することはできますか？

A

同一回の検定であっても検定日ごとに異なる問題を用意していますので、
申込条件(検定日ごとに10名以上の志願者がいること)を満たせば実施できます。
例:2025年度 第2回検定 10月24日(金)10名 11月7日(金)10名

Q.3 志願者全員が同じ級でなければいけませんか？

A

いいえ。全員同じ級でなくてもかまいません。

Q.4 受験級の併願はできますか？

A

検定時間が重ならないければ併願可能です。ただし、同一級を複数の時間帯に分けて実施することはできません^{※1}。
併願者がいる場合であっても、同一級の受験者は開始時刻と終了時刻を合わせてください。

※1併願者のみ別の時間帯で検定を実施すると準会場規程違反となり、当該準会場の受験者全員が失格となりますのでご注意ください。

詳しくは「準会場規程」(P.5)をご確認ください。

※日曜日の検定は公開会場の検定時間に準じて実施してください。検定時間の開始時刻を許容範囲内において調節する場合は、
当該受験者の受験する級の検定時間が重ならないようにご注意ください。

Q.5 同じ受験者が学校と塾など2つ以上の会場で受験できますか？

A

検定日が異なれば問題が異なりますので、2つ以上の会場で同じ級を受検することができます。
ただし、同じ検定日に同じ級を、異なる会場(学校と塾など)で重複して受験した場合は、両方とも失格となります。

Q.6 保護者など在校生以外の方も受験できますか？

A

在校生以外の方も一緒に受験できます。地域ぐるみで受験されている団体が多数あります。
ただし、結果はご担当者様に一括でお届けしますので、結果配付まで対応していただく必要があります。

Q.7 受験級はどのように決めればよいですか？

A

P.2の各級のレベルを参考に、漢検ホームページ掲載の問題例や協会発行の問題集に挑戦し、その結果をもとに受験級を
決定することをおすすめしています。最終目標となる級に向かって、児童・生徒一人ひとりの力にあわせた級からステップ
アップすることで、確実に力がつきます。さらに、漢検に合格することで自信がつき、学習意欲の向上につながります。

Q.8 校内締切日はいつにしたらよいですか？

A

協会の申込締切日1週間前をおすすめしています。特に郵送申込の場合は、必要書類が申込締切日までに協会に必ず到着するように、余裕を持ってお送りください。お申し込みはインターネットが便利です。詳しくはP.7をご参照ください。

申し込み

Q.9 志願者募集の際に使う案内文書は独自に作成したものでもよいですか？

A

はい。ただし、下記の注意事項を必ず記載してください。

＜注意事項＞

受験を申し込まれる皆さまは、「日本漢字能力検定(漢検PBT)受験規約」の適用があることを同意のうえ、検定の申し込みをしてください。受験規約は協会のホームページでご確認いただけます。以下に受験規約の抜粋を示します。



日本漢字能力検定(漢検 PBT)受験規約(抜粋版)

●準会場受験・団体公開会場受験 留意事項

準会場受験もしくは団体公開会場受験の場合、受験申し込みは団体受験実施責任者を通じて行いますので、申し込みに必要な書類・検定料は、団体受験実施責任者に提出してください。

●検定問題漏えいの禁止

検定問題の複製および検定問題の全部または一部を協会の許可なく他に伝え、漏えいすることは、一切禁止いたします(インターネット等に掲載・投稿することを含みます)。

＜個人情報の取り扱いについて＞以下の事項についてご了承のうえ申し込みください。

●ご記入いただく個人情報は、申込団体を経由して当協会に届きます。●未成年の方は、保護者に同意のうえ申し込みください。●合否結果は、申込団体を経由して受験者に通知します。●当協会においては、これらの個人情報を検定に関わる業務、ならびにその他公益活動を行うために使用し、法令で定める場合を除き、目的外には利用しません。(ただし、業務の一部を、業務提携会社に委託する場合があります)

個人情報のご記入は任意ですが、必須項目にご記入がない場合は受験できない場合がありますので、ご注意ください。団体によっては、団体受験において得た個人情報(合否結果、成績など)を進路指導等に利用する場合があります。利用の有無や利用内容については団体の担当者にご確認ください。

ご記入いただきました個人情報に関する開示、訂正等お問い合わせは、下記の窓口へお願いします。

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 個人情報保護責任者 事務局長 個人情報相談窓口 <https://www.kanken.or.jp/privacy/>

●免責事項

(1)不測の事態(天災地変、感染症の流行等)が発生した場合には、受験者の安全を考慮して検定を中止することがあります。その場合でも検定料の返金や振り替えはできません。また、その場合において、協会はいかなる責任も負いません。

(2)前項の他に、協会が検定の中止、変更、遅滞をせざるを得ない場合、または適正な採点、評価が行えない等の不測の事態が生じた場合、協会は、必要な措置を講じるものとします。

(3)次の各号について、協会は一切責任を負いません。

①申込者(代理人を含む)および受験者(付添者を含む)間のトラブル等

②検定会場内および検定会場への往復途上における受験者(付添者を含む)の事故、体調急変またはそのおそれ

●責任の制限

いかなる場合においても、協会が受験者に対して負う責任は、当該受験者が実際に支払った検定料額を上回るものではありません。

●本規約の変更

協会は本規約を予告することなく変更することがあります。当該変更については、協会の公式ウェブサイトまたは協会発行の各媒体に掲載された時点より効力が生じるものとします。

「漢検 団体サポートサイト」に案内文書のテンプレートがあります(<https://www.kanken.or.jp/dan-sprt/>)。

Q.10 「団体専用ページ」のパスワードがわかりません。どのようにしたらよいですか？

A

●インターネットで検定を申し込んだことがある場合

ログイン画面の「パスワードをお忘れの方はこちら」へ進み、仮パスワードの発行を行ってください。ご登録のメールアドレスへ仮パスワードが届きます。到着後、72時間(約3日)以内にログインし、任意のパスワードに変更してください。

●インターネットで検定を申し込んでいない／わからない場合

ログイン画面の「会場番号・パスワードをお忘れの方はこちら」から漢検ホームページのお問い合わせ画面へ進み、お問い合わせフォームから協会へご連絡ください。お急ぎの場合は、お電話にてご連絡ください。

※仮パスワードは団体のご担当者様にしかお伝えすることができません。

Q.11 準会場実施を予定していますが、公開会場での受験(1級・準1級など)を希望する志願者が1名います。どのように申し込めばよいですか？

A

同一回の準会場受験の志願者が10名以上いる場合、公開会場の志願者は団体公開会場受験(P.23参照)として1名から申し込みます。インターネット(団体専用ページ)または郵送で申し込んでください(FAX申込は不可)。受験票や検定結果資料などは全て団体ご担当者様にお届けします。

インターネット申込(団体専用ページ)

先に準会場の申し込みを完了し、次に公開会場の申し込みを行ってください。

郵送申込

①団体受験申込書 No.1・2 ※必須

「検定日」の欄には、準会場受験を実施する検定日を記入してください。

受験者	A・準会場	B・公開会場
準1	1級・準1級は公開会場のみ	/
準2	10	/
準3		

(記入例)

②公開会場用願書 ※必須

公開会場の志願者数分

※資料画像はイメージです

③協会行準会場用申込用紙(B)

準会場の志願者数分

※志願者情報「なし」で申し込み場合は不要

申込締切日

検定日が準会場と公開会場で異なる場合、申込締切日が早い方を締切日とします。その日には必ず協会に届くように、上記①～③の申込書類を一括送付してください。一括送付が困難な場合は協会までお問い合わせください。

Q.12 生徒の名簿データを活用して、インターネットで申し込むことはできますか？

A

はい。名簿ファイル(CSV)を活用しアップロードすることが可能です。

団体専用ページ(<https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn>)の「志願者登録画面」から名簿ファイルのひな形のダウンロードと、作成した名簿ファイルのアップロードを行うことができます。

※各項目の入力ルール等は、団体専用ページのログイン画面からダウンロードできる、インターネット申込手順マニュアルをご確認ください。

※受検希望者を募る際にご活用いただけるGoogleフォーム(テンプレート)がございます。詳しくは団体サポートサイトをご確認ください。

Q.13 協会へ送付する志願者の一覧は独自に作成したものでもよいですか？

A

はい。ただし、以下の例にならって、次の必要項目を1行に漏れなく記載してください。FAXで申し込む場合は、文字がつぶれやすいため、大きめの文字サイズで作成してください(出力時に14ポイント以上を推奨)。また、項目名や志願者情報のセルに色をつけると、FAX受信時に黒く塗りつぶされてしまうため、セルは無色(白)にしてください。

氏名 フリガナ 受検級 生年月日(西暦) 性別(※任意)

※クラス単位の名簿をご希望の場合は「学年・組」を、繰越者の場合は「繰越者」と、備考欄に記入してください。

※1ページの人数は20～30名を目安とし、複数ページにまたがる場合は、各ページの1行目に見出し(タイトル行)を記載してください。

なお繰越者を含む申込方法はP.10をご参照ください。



必要な情報が1行に記載されている。

姓	名	カナ姓	カナ名	受検級	生年月日	性別	学年	組	備考欄
漢検	太郎	カンケン	タロウ	2	2006年1月1日	男	1	2	繰越者
漢検	愛子	カンケン	アイコ	2	2006年2月2日	女	1	2	
漢検	花子	カンケン	ハナコ	準2	2006年3月3日	女	1	2	



必要な情報が1行に記載されていない。

1年2組

氏名	2級	準2級	3級	フリガナ	生年月日	性別	繰越者
漢検 太郎	○			カンケン タロウ	2006年1月1日	男	○
漢検 愛子	○			カンケン アイコ	2006年2月2日	女	
漢検 花子		○		カンケン ハナコ	2006年3月3日	女	

姓と名が区別できるように作成してください。

※「学年・組」ではアルファベットの大文字・小文字が区別されます(Aとaは異なる学年・組とみなされます)。

※「学年・組」は英数字のみ(各2ケタまで)使用できます。漢字、ひらがな、カタカナ、記号は使用できません。

Q.14 申込間違い(受検級の間違い／申込漏れ)が判明しました。申込内容の変更はできますか？

A

●申込締切日当日まで

準会場受検申込またはインターネット(団体専用ページ)で申し込まれた団体公開会場受検申込に限り、申込内容の変更を承ります。申込方法によって手続きが異なりますので、ご注意ください。

※団体公開会場受検を郵送で申し込まれた場合は、申込締切日前であっても、送付後、申込内容の変更は一切できません。

インターネット
(団体専用ページ)

申込内容確認・修正画面より変更をしてください。変更を完了する都度、申込完了メールが送信されます。

郵送／FAX

●以下いずれかの方法で「申込内容変更依頼書」を入手して変更してください。

団体専用ページで入手

①「各種資料のダウンロード」ページより入手する → ②必要事項を記入し、申込締切日必着でFAX送信する → ③申込締切日の翌営業日までにFAX送信した旨を電話で連絡する

お電話で入手

①申込締切日の17:00までに協会へ電話で連絡する → ②協会より「申込内容変更依頼書」FAXが到着 → ③必要事項を記入し、申込締切日必着でFAX送信する

●申込締切日翌日以降

P.19のQ.32をご覧ください。

Q.15 塾でいくつか教室を持っています。複数の教室を合わせると10名以上集まりそうですが、準会場として申し込みますか？

A

申し込みます。申込方法については協会までお問い合わせください。

検定料の支払い

Q.16 申込時に「検定料総額を支払う」(または「事務連絡費・準会場実施経費を差し引く」)を選択しましたが、後から変更できますか？

A 申込締切日の1週間後まで変更を承ります。協会までお問い合わせください。なお、期日を過ぎますと、変更できません。その場合は、Q.17の方法をご確認ください。

Q.17 検定料控除制度の事務連絡費・準会場実施経費のいずれかのみ、または必要な経費分だけ控除金を受け取ることはできますか？

A 可能です。以下【A】【イ】のいずれかの方法をご確認ください。

【A】不要な控除金を返納する方法

- ①申込時に、「検定料総額を支払う」にチェック☑をしないで申し込む
- ②検定日の約2週間前に届く請求書兼払込票(専用の払込票)で、控除金を差し引いた請求額を支払う
- ③検定終了後(必要な経費精算後)、不要な控除金を協会に返納(銀行振込)する
- ④返納後1週間以内に、返納した金額を「団体サポートサイト」のWEBフォームに入力し、協会へ提出する

※振込先はP.15のQ.19をご確認ください。

変更点

【イ】必要な経費を請求する方法

- ①申込時に、「検定料総額を支払う」にチェック☑をして申し込む
- ②検定日の約2週間前に届く請求書兼払込票(専用の払込票)で、検定料総額を支払う
- ③「団体サポートサイト」のWEBフォームから申請する
- ④請求した金額を受け取る

※請求可能な金額の上限は、控除金(事務連絡費+準会場実施経費)から所定の手数料を差し引いた金額です。請求可能な金額が不明な場合は、協会までお問い合わせください。

※経費の請求は当年度中に限ります。第3回検定は当年度の3月末までに請求ください。

変更点



WEB
フォームは
こちら

Q.18 経理上、特別な書類が必要です。
 ・協会の公印が押印された請求書を発行してください
 ・(学年ごとなど)請求書を分けて発行してください
 ・見積書・納品書を発行してください

A 申込締切日までに「団体サポートサイト」のWEBフォームからご申請ください。
 ただし、発行方法や内容に制約事項がございますので、以下の「■発行可能な請求書について」をご確認ください。

変更点



WEB
フォームは
こちら

■発行可能な請求書について

	書面の様式	書面の種類	書面の制約事項	支払可能機関	手数料
①	任意の金額に分けた複数枚の請求書を発行	請求書兼払込票(専用の払込票)のみ	・請求金額のみ記載(級ごとの内訳などの記載は不可) ・宛名・送付先の変更不可(申込団体名・問題送付先住所への送付) ・請求書発行日の指定不可	・コンビニエンスストア ・ゆうちょ銀行	「通常払込料金加入者負担(料金受取人負担)の払込取扱票(赤色)」の払込料金は協会負担
②	任意の内容を含む書面(級ごとの内訳など)を発行	・請求書(公印付) ・見積書(公印付) ・納品書(公印付)	なし(級ごとの内訳や請求金額のみの記載も可能)	・三菱UFJ銀行 ・みずほ銀行	貴団体にてご負担

Q.19 銀行振込で入金することはできますか？

A

ご入金いただけます。手数料は貴団体でご負担いただく旨をご了承ください。また、請求書をご確認のうえ、ご入金額にお間違いがないようにご注意ください。

＜振込の際の注意点＞

必ず振込依頼人名欄に会場番号・登録団体名をご記入ください。

ご記入がない場合、振込元がわからず入金確認ができないことがあります。

振込先

金融機関名	: 三菱UFJ銀行 京都支店	口座名義	: (公財)日本漢字能力検定協会
預金種別	: 普通預金	口座名義カナ	: ザイカケン
口座番号	: 1428530		

Q.20 複数の会場の検定料を合算して入金することはできますか？

A

銀行振込でご利用いただけます。手数料は貴団体でご負担いただく旨をご了承ください。

協会にてどのご請求分か把握できるよう、振込後に、FAXで詳細(会場番号・会場名・入金日・入金口座・入金合計金額・会場ごとの入金金額)をお知らせください。

※銀行口座に関しましては、Q.19の振込先をご確認ください。

Q.21 請求書兼払込票(専用の払込票)が届きません。

A

請求書兼払込票(専用の払込票)は検定日の約2週間前に普通郵便でお送りしています。

(宛名には貴団体の名称のみ記載されており、担当者名は記載されていません。詳しくはP.9をご参照ください。)

貴団体内で他の教職員の方が保管されていないかご確認ください。検定日の1週間前になっても届かない場合は、お手数ですが検定日までに協会にお問い合わせください。

Q.22 領収書を発行することはできますか？

A

払込受領証で代用してください。代用が難しい場合は発行を承りますので、協会までお問い合わせください。

※いかなる理由でも領収書の再発行はいたしかねます。

Q.23 請求書が届きましたが、内容が間違っています。

A

団体専用ページまたは団体受検申込書の控えをご確認いただき、異なる点がございましたら、協会までお問い合わせください。

よくあるケース

- ・申込後、申込締切日までに申込内容を変更したことを忘れていた
- ・繰越者を新規志願者として申し込んでいた
- ・検定料控除制度の選択を間違えていた

※受検級の間違いや申込漏れがある場合は、予備の答案用紙で受検級の変更や受検者の追加が可能です。詳しくは、P.19のQ.32をご参照ください。

実施について

問題・答案用紙の到着

検定日の数日前までに問題・答案用紙をお届けします。**到着後すぐに内容物を確認し、不足や不備があれば至急協会までご連絡ください。**また検定日当日までに「準会場の手引き※」をご一読ください。準会場規程をはじめ、検定運営に関する大切な内容が記載されています。

指定の宅配業者への答案返送の集荷依頼は可能な限り検定日前日までに行ってください。

※「準会場の手引き」は事前に団体専用ページからダウンロードできます(最新版は各回最初の検定日の約2週間前から閲覧可能です)。

送付内容

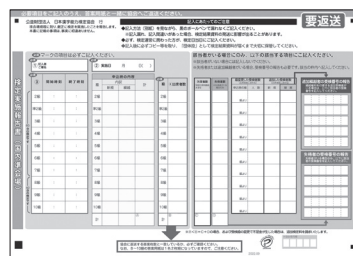
《梱包順》

- 答案用紙返送用 着払伝票
- 送付内容物確認書
- 準会場の手引き(志願者30名につき1冊)
- 受検者名簿(級別)(志願者情報「有」申込の場合のみ)
- クラス単位の名簿(志願者情報「有」、準会場30名以上でお申し込みかつご希望の団体のみ)
- 検定実施報告書
- 8～10級氏名・生年月日訂正申請書(志願者情報「有」申込かつ8～10級志願者がいる団体のみ)
- 申し込みをした人数分の問題・答案用紙
- 予備の問題・答案用紙

▼準会場の手引き



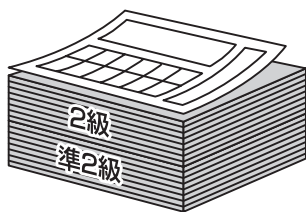
▼検定実施報告書



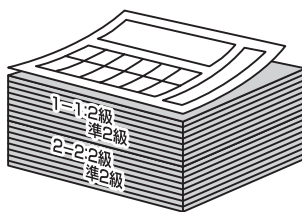
※画像はすべてイメージです。

問題・答案用紙の梱包順序について ～志願者情報「有」申込の場合～

志願者30名未満の場合
受検級ごと、受検番号順(昇順)に梱包



志願者30名以上かつクラス単位の名簿を「希望する」場合※
受検級ごと、受検番号順(昇順)に梱包
もしくはクラスごとに、受検級ごと、受検番号順(昇順)に梱包



※申込時に選択してください。
※1クラス分が2～7級と8～10級で分かれています。

* 受検番号の振り方はP.8をご覧ください。

予備の問題・答案用紙について

答案用紙の破損、申込漏れや間違いなどの不測の事態に備えて、予備の答案用紙を同梱しています。同梱する予備の枚数は志願者数によって決まっています(右表参照)。他人の答案用紙や会場番号の異なる予備の答案用紙を使用した場合、無効答案とみなし失格となります。ご注意ください。志願者の追加や受検級の変更がある場合はP.19のQ.32をご確認ください。なお、志願者の追加や受検級の変更により発生した検定料は控除制度(P.9)の適用外です。

●志願者数と予備枚数の対応表(級ごと)

志願者数	予備枚数
0～1名	1枚
2～10名	2枚
11～15名	3枚
16～20名	4枚
21～30名	5枚
31～40名	6枚
41～50名	7枚
51～60名	8枚
61～80名	9枚
81～100名	10枚
101名以上	12枚

●送付例

級	志願者数	予備枚数
2級	0名	1枚
準2級	0名	1枚
3級	22名	5枚
4級	11名	3枚
5級	8名	2枚
6級	1名	1枚
7級	0名	1枚

⋮

検定実施

検定日当日の、受検者への説明は「準会場の手引き」に沿って省略せずに行ってください。

「準会場規程」(P.5)を遵守してください。違反した場合は当該準会場の受検者全員を失格とし、協会が主催するすべての検定の準会場認定を取り消すことがあります。

※特に以下の項目にご注意ください。

1 申し込んだ検定日※を遵守してください。いかなる例外も認められません。

※問題用紙・答案用紙に記載された検定日

2 同一級の受検者は、開始時刻と終了時刻を合わせてください。

3 日曜日の検定は、公開会場の検定時間に準じて実施してください。

4 問題の漏洩防止のため、検定終了後、問題用紙は必ず回収し、検定日の翌日以降に

受検者に返却してください。※検定終了後は、問題・答案用紙をそれぞれ回収してください。

(注意: 受検の様子などをホームページ等に掲載される場合、問題の漏洩防止のため、検定問題と分かる画像等の公表は行わないでください。)

答案用紙を協会へ返送

答案用紙、検定実施報告書、8～10級氏名・生年月日訂正申請書(志願者情報「有」申込かつ8～10級に訂正申請者がいる場合のみ)に記入漏れがないかを確認し、問題をお届けした時のダンボール箱に入れます。検定実施報告書は必ずコピーを取り、団体控えとして手元に残してください。ダンボール箱に、答案用紙返送用 着払伝票(*)を貼って、検定日当日中に、答案用紙等の返送物を漏れなく協会へ返送します。

問題の受け取りから答案返送までに紛失・盗難等が発生しないよう取り扱いにご注意ください。

発送するまでに数日が経過した答案については、解答の正当性に疑義が生じるため、無効答案と判断され失格となる場合があります。

*協会からお送りした着払伝票をご使用の場合に限り送料はかかりません。その他の方法をご利用の場合、答案返送料は貴団体でご負担ください。

※コンビニエンスストアからも発送できます。

(協会指定の配送業者は「準会場の手引き」で確認してください。)

※検定日当日中に集荷を依頼することも、宅配便取扱店に持ち込むことも難しい場合は、鍵のかかる場所で厳重に保管し、遅くとも検定日翌日中には発送してください。

※欠席者・失格者(途中退室含む)の答案や予備は返送不要です。

返送内容

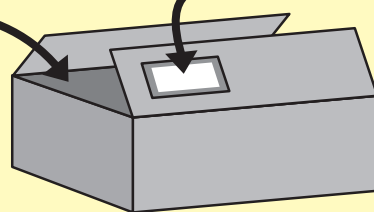
①返送物を漏れなく入れる

- 受検者分の答案用紙
- 検定実施報告書
- 8～10級氏名・生年月日訂正申請書
(志願者情報「有」申込かつ8～10級に訂正申請者がいる場合のみ)

※受検者名簿の返送は不要

答案の送り漏れにご注意ください。
無効答案と判断され失格となる場合があります。

②着払伝票を貼る



問題用紙の返却

問題用紙は検定日の翌日以降に受検者へお渡しください。

なお検定日の約5日後から漢検ホームページで標準解答を公開します。

実施についてのQ & A

Q.24～Q.32

Q.24 問題・答案用紙はいつ送られてきますか？

A

検定日の数日前にお届けします。届きましたら、宛名に間違いがないか確認のうえ、開封してください。
内容物に不足がないか確認し、検定日まで鍵のかかる場所で厳重に保管してください。

※発送日の変更や到着日時の指定はできません。

Q.25 問題・答案用紙はどのような形状になっていますか？

A

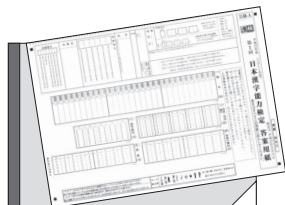
2～7級と8～10級で問題・答案用紙の形状が異なります。

2～7級：問題用紙2枚(問題面を内側にして四辺を接着)と答案用紙1枚が左側で貼り合わされています。

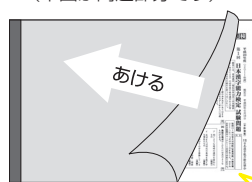
監督者の指示に従い、受検者自身が問題用紙と答案用紙の切り離し、および問題用紙の開封を行います。

検定終了後、答案用紙は協会へ送付し、問題用紙は一旦回収し検定日翌日以降に受検者に返却してください。

- ①問題用紙と答案用紙を切り離す(検定開始前) ②問題用紙をあける(検定開始後) ③問題用紙をあけたイメージ
(中面が問題部分です)



7級以上の問題用紙と答案用紙



問題用紙は四辺が
のりで加工されています。
左端は離れません。

8～10級：解答欄付きの問題用紙2枚が右側で貼り合わされています。

問題用紙1枚目と2枚目を切り離す必要はありません。

切り離した場合は、セロハンテープやホチキスで留めずにそのままご返送ください。

Q.26 天災や感染症(例：インフルエンザ、新型コロナウイルス)などにより、休校・学年閉鎖・学級閉鎖になった場合はどのようにしたらよいですか？

A

P.28のQ.52をご確認ください。

Q.27 欠席をした場合はどうなりますか？

A

欠席者には検定日の翌日以降に、問題・答案用紙をお渡しく下さい。標準解答は検定日の約5日後から漢検ホームページで公開、30～35日後に検定結果資料と一緒にお届けします。

検定料の返金や受検機会の繰り越しはできません(検定料の払込前に判明した場合でも検定料は発生します)。

ただし、団体担当者が特別欠席*の申請手続きを行い、協会が審査し承認した場合に限り、該当者の受検機会を次回以降の団体受検に繰り越すことが可能です。

※特別欠席制度の申請および条件の詳細はP.27以降をご確認ください。

Q.28 検定は級ごとに違う教室で実施しなければいけませんか？

A

同じ教室で実施できます。

ただし、検定時間が異なりますのでご注意ください(2級～7級は60分間、8級～10級は40分間)。

Q.29 学校で検定を実施するにあたり、行政へ提出する書類が必要です。どのようにしたらよいですか？

A

「行政財産使用許可申請書」や「監督委嘱状」など、行政機関指定の書類をご用意ください。

申請日、申請者欄を空欄のままにして協会へお送りいただければ、協会の公印を押印しお戻しいたします。

Q.30 会場設営においてどのような点に注意すればよいですか？

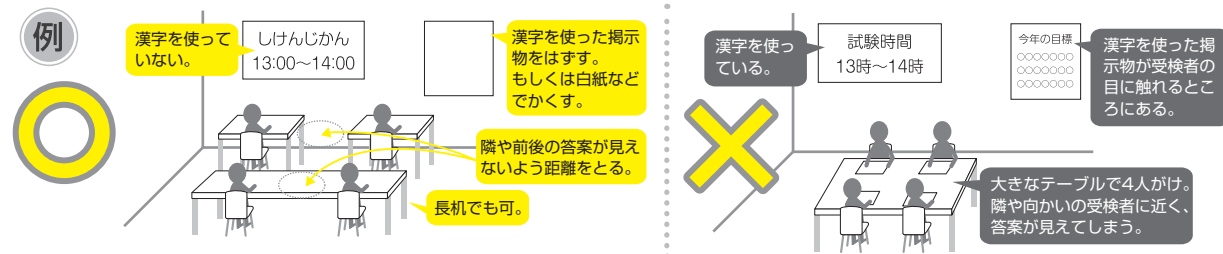
A

他の受験者の答案が見えないよう距離をとるとともに、漢字を使った掲示物など検定の実施にふさわしくないものがある場合は、はずしていただくか上から模造紙を貼るなど、受験者の目に触れないようにしてください。

また、受験者が検定に集中できるよう静かな環境設定を心がけてください。

※他の受験者への影響が大きいと予測される受験者には、別会場(教室)を用意するなどの配慮をお願いします。

※貴団体で取り組まれている感染症予防対策に応じた座席の設定をお願いします。



Q.31 申込間違い(氏名・生年月日・学年・組(クラス)などの表記の間違い)がありました。どのようにしたらよいですか？

A

《氏名／学年クラスの間違い》

2〜7級 検定開始前の説明および記入の際、受験者本人が答案用紙の間違った字を○で囲み、ふりがな右横の訂正マーク欄を塗りつぶし、その下に正しい氏名(フルネーム)／学年・クラスを記入してください。

8〜10級 監督者が『8〜10級氏名・生年月日訂正申請書』の受験級・訂正が必要な項目にマークし、受験番号と正しい氏名(フルネーム)／学年・クラスを記入してください。

《生年月日の間違い》

2〜7級 検定開始前の説明および記入の際、受験者本人が答案用紙の生年月日下の訂正マーク欄を塗りつぶし、その横に正しい生年月日を記入してください。

8〜10級 監督者が『8〜10級氏名・生年月日訂正申請書』の受験級・訂正が必要な項目にマークし、受験番号と正しい生年月日を記入してください。

《申込者の間違い(別人)》

誤って申し込んだ志願者は欠席としてください。申し込みが漏れていた志願者は、予備の問題・答案用紙を使用して受験することができますが、検定料が別途発生します。なお、欠席者への返金はできませんので、あらかじめご了承ください。

Q.32 申込間違い(受験級の間違い／申込漏れ)をしていた受験者がいます。どのようにしたらよいですか？

A

予備の答案用紙を使用して受験してください。ただし、会場番号の異なる予備の答案用紙や他人の答案用紙を使用した場合、無効答案とみなし失格となります。ご注意ください(P.16「予備の問題・答案用紙について」を参照)。

※申込締切日当日までの対応は、P.13のQ.14をご確認ください。

対応方法の詳細については、問題・答案用紙と一緒にお届けする「準会場の手引き」をご確認ください。協会への事前連絡は必要ありません。

注意 志願者情報「有」で申し込んだ場合、答案用紙に志願者の氏名・生年月日が印字されます。万一、印字された方とは異なる別人が受験した場合、その答案は無効となり採点ができませんのでご注意ください。

● 締切後の受験級の変更・受験者の追加などで検定料に不足金が生じた場合は…

検定実施報告書(検定実施後に記入／答案返送時に同梱)に記載していただいた内容をもとに協会にて不足金を算出し、結果送付の時期に不足金専用の払込票をお送りします。なお、申込時点の検定料は検定日前日までに払い込んでください。

※この場合、事務連絡費・準会場実施経費は差引かれず、検定料全額を請求いたします。あらかじめご了承ください。

受検級を変更した際の不足金について

検定料の異なる上位級へ変更した場合(例:準2級→2級／5級→4級／8級→7級)は不足金を請求いたします。

例 (準会場で申し込んだ場合) 準2級(2,500円) ▶ 2級(3,500円) ▶ ▶ 1,000円の差額を請求

※検定料の異なる下位級へ変更した場合 (例:2級→準2級／7級→8級) 差額のご返金はできませんのでご了承ください。

※検定料が同額の級へ変更した場合 (例:4級→3級／10級→9級) 不足金は発生しません。

結果について

WEB合否結果公開

準会場:約25日後／公開会場:約30日後

「団体専用ページ」で合否結果を確認できます。
(WEB合否結果公開までの日数はあくまで予定ですので前後する場合があります)

WEB合否結果公開予定日や
検定結果資料発送予定日は、
団体専用ページで確認できます。

ココが便利！

- 級別の合格状況、受検者の得点や合否、合格認定日を確認することができます。
- 結果のデータをダウンロードすることができます。

【ダウンロードしたデータの活用例】

- ・ Excel(エクセル)ファイルで生徒の受検履歴を一括管理
- ・ 合否結果を一行ずつ印刷して、該当の受検者に配布

<WEB合否結果・結果ダウンロード画面 イメージ>

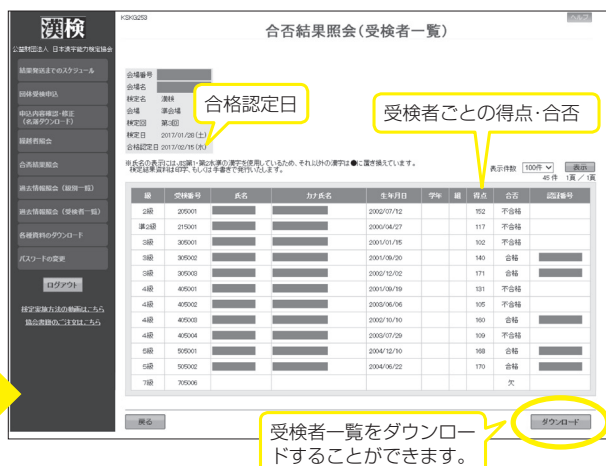
「団体専用ページ」左側のメニューの「合否結果照会」から該当の検定日を選択します。



■ 合否結果照会(級別一覧)画面(イメージ)



■ 合否結果照会(受検者一覧)画面(イメージ)



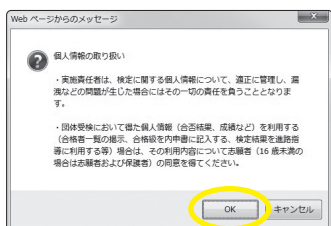
■ 結果ダウンロード方法

- ① 各画面で「ダウンロード」ボタンを押します。
- ② ポップアップのメッセージ(個人情報の取り扱い)を確認し、「OK」ボタンを押します。
- ③ CSVファイルでデータが出力されます。

※ダウンロードするデータには個人情報が含まれます。お取り扱いには十分ご注意ください。

「合否結果照会」画面は過去1年分の合否結果が確認できます。
それ以前の結果については「過去情報照会(級別一覧)」「過去情報照会(受検者一覧)」からご確認ください。
※「過去情報照会」画面では過去6年分の情報が確認できます。

② ポップアップ画面(例)



③ 出力後のCSVファイル(受検者一覧)

ホーム レイアウト テーブル グラフ SmartArt 数式 データ 校閲																	
編集			フォント			配置			数値			書式					
貼り付け 下 フィル 上			MS Pゴシック (本文) 12 A- A+			ABC 折り返し			標準			標準					
ペースト クリア			B I U 背景色 文字色 ABC			ABC 折り返し			セル結合			条件付き書式					
									%			悪い					
T2 fx																	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	会場番号	会場名	検定名	検定日	会場	級	受験番号	氏名	カナ氏名	生年月日	性別	学年	得点	合否	合格認定日	認証番号	
2			漢検	2014/7/11	準会場	5級								合格	2014/7/29		
3			漢検	2014/7/11	準会場	5級								合格	2014/7/29		
4																	
5																	
6																	

検定結果資料発送

準会場: 30～35日後 公開会場: 約40日後

団体担当者様宛に検定結果資料が届きます(結果資料発送までの日数はあくまで予定ですので前後する場合があります)。
 なお、検定日の約5日後から漢検ホームページで標準解答を公開します。

※画像はすべてイメージです



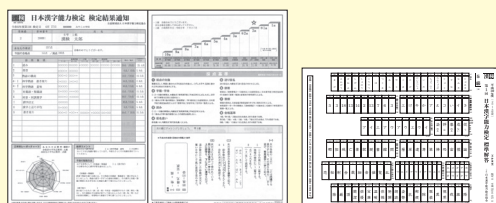
受検者用

1人一冊に
まとめて
お届けします



受検者全員に

■検定結果通知・標準解答



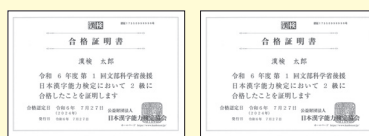
合格者に

■合格証書または満点合格証書(A4サイズ)



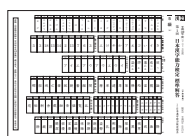
満点で合格した方には
特別な合格証書!

■合格証明書 (A5サイズ2枚)

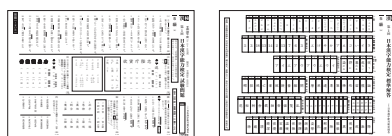


欠席者に

■(準会場受検の場合)標準解答



■(団体公開会場受検の場合)問題用紙・標準解答



団体担当者用

■受検結果名簿

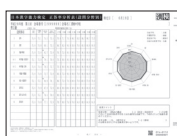


受検者の合格結果を一覧にしています。成績の把握に便利です。

※個人情報のお取り扱いには十分にご注意ください。

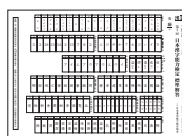
※お申し込みの際、クラス単位の受検者名簿を希望された場合は、受検結果名簿も級別・クラス別の2種類をお送りします。

■正答率分析表



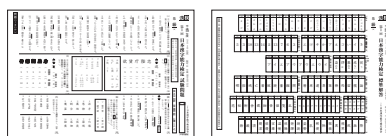
一問ずつの正答率を掲載しています。受検者の得意・不得意な分野や問題点がわかり、今後の指導に役立ちます。

■(準会場受検の場合)標準解答(冊子)



2～10級分を
収録

■(団体公開会場受検の場合)問題用紙・標準解答(冊子)



1～10級分を
収録

■家族受検表彰制度
申請書

制度の申請については
P.26をご覧ください。

検定結果資料の梱包順序について ～志願者情報「有」申込の場合～

志願者情報「有」での申し込みで準会場の志願者が合計30名以上かつクラス単位の受検者名簿を「希望する」にした場合は、受検者の冊子はクラスごとに、受検級ごと、受検番号順(昇順)の梱包となります。それ以外は、受検級ごと、受検番号順(昇順)の梱包となります。

結果についてのQ & A

Q.33 ~ Q.39

Q.33 「団体専用ページ」のパスワードはどのようにしたらわかりますか？

A

P.12のQ.10をご覧ください。

Q.34 合格証書の日付はどこで確認できますか？

A

団体担当者用の検定結果資料「受検結果名簿」や、「団体専用ページ」の合否結果照会画面に記載しています。
過去に合格された受検者の合格証書の日付については、「団体専用ページ」の過去情報照会画面からご確認いただけます。

Q.35 インターネット(団体専用ページ)の合否結果に表示されている名前が「●」に置き換えられているのはなぜですか？

A

インターネット(団体専用ページ)で表示される氏名にはJIS2004第1・第2水準の漢字を使用しているため、それ以外の漢字は「●」に置き換えています(インターネットご利用環境によっては、この限りではありません)。
氏名の表示に「●」を含んでいる場合も、検定結果資料の氏名は申込時の漢字または検定日当日に記入・訂正された漢字が印字されます。

Q.36 「令」なのに「𠄎」となっています。(「怜、玲、鈴」等の「令」を含む漢字も同様)

A

「令」と「𠄎」はフォントのデザインの違いによるもので、本来同じ漢字です。そのため区別して登録することができません。特定のフォントを強く希望される場合は、検定結果資料が団体に届いた後、1か月以内に「準会場の手引き」または本冊子付録(P.34)の「氏名訂正依頼書」に必要事項をご記入のうえ、訂正を希望される書類一式とともに協会へお送りください。

※氏名を訂正し再発行を行う場合、検定結果資料は冊子ではなく1点ずつ分かれた状態でお送りします。

Q.37 インターネット(団体専用ページ)で合否結果が見られません。

A

検定料の払い込みが確認できていない可能性があります。すでに払い込みが済んでいる場合は、協会までご連絡ください。まだお済みでない場合は、払込後に協会までご連絡ください。

Q.38 1人だけ検定結果資料の冊子が見当たりません。

A

前後の方の検定結果資料と重なっている可能性があります。再度確認しても見当たらない場合は、団体に検定結果資料が到着してから1か月以内に協会までご連絡ください。なお、受検者へ配付した後に不足が判明した場合は、誤って他の受検者に配付されていないか、よくお確かめください。

Q.39 合格証明書を再発行できますか？

A

有償(A5サイズ1枚につき発行手数料1,000円)で再発行できます。

変更点

申請方法はホームページにてご確認ください。

(https://www.kanken.or.jp/kanken/personal/apply/apply_reissue.html)

※合格証書、満点合格証書、検定結果通知は再発行できません。

申請方法は
こちらから



団体公開会場受検

検 定 日

2025年度 検定日程

	検定日	申込締切日(協会必着)	
		郵 送	インターネット
第1回	2025年 6月15日(日)	2025年 4月15日(火)	
第2回	2025年10月19日(日)	2025年 8月 7日(木)	
第3回	2026年 2月15日(日)	2025年12月 4日(木)	

申し込み～結果到着の流れ

団体公開会場受検 1級～10級の公開会場での志願者が合計 **10名** 以上必要

準 備 ▶ P.3	—	● 申込用の資料を入手する ※資料の不足があれば協会までご連絡ください。 ● 団体内で漢検についての情報や実施目的を共有し、検定日や受付期間を決定する。									
案内・募集 ▶ P.3	申込締切日の 約1か月前	● 検定日・受付期間・申込方法を案内する(P.24のQ.42参照)。 ◆「公開会場用願書」と「検定料納入袋」を配布し、ポスターを掲示する。									
申し込み ▶ 本ページ下段	申込締切日 上の表を ご確認ください。	● 公開会場用願書・検定料を集める。 ● 申込締切日までに協会へ申し込む(締切日必着)。 ※締切日を過ぎての志願者の取り消し・追加・変更はできません。 ● (郵送申し込みの場合)「団体専用ページ」にて申込受領状況を確認する。									
検定料払込	検定日約2週間前	● 専用の払込票で、検定日前日までに検定料を払い込む。									
検定実施準備	検定日数日前	● 志願者全員分の受検票がご担当者様のもとへ到着する。 ▶ 志願者へ配付する。									
検定実施	検定日当日	● 志願者が各自で受検票に記載されている会場へ行く。 (3級以上は顔写真(縦4cm×横3cm)を受検票に貼付して持参) ※検定開始15分前までに入室してください。 <table><tr><td rowspan="2">検定時間</td><td>8級/9級/10級</td><td>10:00～10:40(40分)</td><td>準2級/4級/6級</td><td>13:40～14:40(60分)</td></tr><tr><td>1級/2級/7級</td><td>11:50～12:50(60分)</td><td>準1級/3級/5級</td><td>15:30～16:30(60分)</td></tr></table>	検定時間	8級/9級/10級	10:00～10:40(40分)	準2級/4級/6級	13:40～14:40(60分)	1級/2級/7級	11:50～12:50(60分)	準1級/3級/5級	15:30～16:30(60分)
検定時間	8級/9級/10級	10:00～10:40(40分)		準2級/4級/6級	13:40～14:40(60分)						
	1級/2級/7級	11:50～12:50(60分)	準1級/3級/5級	15:30～16:30(60分)							
結果発送 ▶ P.20,21	検定日約5日後	● 標準解答WEB公開									
	検定日約30日後	● 「団体専用ページ」にてWEB合否結果公開開始(ご担当者様のみ閲覧可能)。									
	検定日約40日後	● 検定結果資料・標準解答がご担当者様宛に発送される。 ▶ 受検者に結果資料と標準解答を配付する。 ▶ 欠席者に問題と標準解答を配付する。									

申込方法

STEP 1 申し込み

※FAXでのお申し込みはできません。

● インターネット(団体専用ページ)

「団体専用ページ」にログインし、「団体受検申込」の検定日選択画面で「公開会場」の検定日を選択



おすすめ

インターネット申し込みなら
申込締切日当日まで申込内容の変更が可能です

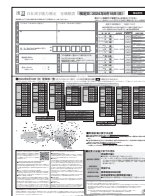
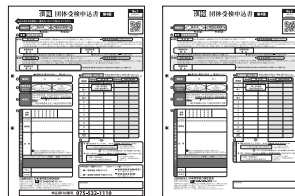
● 郵送

※申込締切日前であっても申込後の追加・変更・取り消しはできません

申込必要書類を郵便または宅配便で一括送付 **送付先 協会本部(京都)**

● 団体受検申込書No.1・2(協会行1・2)

● 志願者全員分の公開会場用願書



※住所・電話番号の記入は不要です。受検票、標準解答、検定結果資料はご担当者様宛にお届けします。
※繰越者の場合は「協会使用欄」に「繰越者」とご記入ください(P.24のQ.41参照)。

STEP 2 検定料を払い込む

級別の人数、事務連絡費の希望状況をもとに団体ごとの請求額を算出し、検定日の約2週間前に専用の払込票をお送りします。検定日前日までに払い込んでください。

検定料総額
(新規志願者から集金)

控除

事務連絡費※
(検定料総額の5%)

＝ 請求額

※新規志願者から検定料を前もって割り引いて集金することは不可

団体公開会場受検についての Q & A Q.40～Q.44

Q.40 同じ回に準会場受検でも申し込みをしたいです。両方申し込めますか？

A 準会場受検として条件を満たしていることを前提として可能です。類似例としてP.12のQ.11をご確認ください。

Q.41 志願者の中に繰越者がいます。申し込みにあたっての注意点はありますか？

A 準会場受検の繰越者が団体公開会場受検で繰越者として申し込む場合、繰越差額が発生します。詳細は、P.10をご確認ください。

例) 公開会場で5級の繰越権利を取得し、今回4級を申し込む場合に生じる検定料

- ・5級(公開会場:3,000円)→4級(公開会場:3,500円) 差額 500円 を請求いたします。
- ・5級(公開会場:3,000円)→4級(準会場:2,500円) 差額 返金なし

※「準会場→準会場」「準会場→公開会場」の場合は、P.10をご確認ください。

インターネット申込(団体専用ページ)

P.10をご確認ください(準会場受検の申込方法と同じです)。

郵送申込

以下の2点の記入についてご注意ください。

①団体受検申込書

「⑦志願者数」の欄には新規志願者数とわけて繰越者数をご記入ください。

②公開会場用願書

「繰越者」のマーク欄を塗りつぶしてください。他の項目は通常のお申し込みと同様にご記入ください。

〈記入例〉3級に新規志願者9名、繰越者1名の合計10名で申し込み

①団体受検申込書

「⑦志願者数」の記入イメージ

級別	⑦-① 新規志願者数	⑦-② 繰越者数
1		
2		
3	9	1
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
合計	9	1

②公開会場用願書

繰越者の場合は
☐を塗りつぶす

Q.42 個人受検とは違うのですか？

A 異なります。団体公開会場受検の場合は、申し込みから結果配付までのやりとりを団体担当者様を通じて行います。この違いを受検者の方にもお伝えください。

また、団体向けの検定結果資料が送付されるため、団体担当者様にて受検者の成績管理をすることができます。ただし、募集から検定結果資料の配付までに知り得た個人情報の取り扱いには十分ご注意ください。

Q.43 志願者によって希望地区が異なっても問題ありませんか？

A 問題ありません(例: 志願者A-京都、志願者B-大阪)。

Q.44 申込間違い(受検級の間違い／申込漏れ)が判明しました。申込内容の変更はできますか？

A

- インターネット申込(団体専用ページ)
申込内容確認・修正画面より変更をしてください。変更を完了する都度、申込完了メールが送信されます。申込締切日当日でも変更可能です。
- 郵送申込
申込締切日前であっても、送付後、申込内容の変更は一切できません。
※申込締切日翌日以降は、インターネット申込(団体専用ページ)・郵送申込ともに申込内容の変更は一切できません。

各種制度について(準会場・公開会場共通)

《学習意欲向上に》 表彰支援制度

「表彰支援制度」とは、受験者の学習意欲向上を支援するため、「表彰支援セット」(無料)を協会から団体へお送りする制度です。合否にかかわらず、各団体が独自の基準で表彰することができます。

2025年度から表彰支援制度が新しくなります。 **変更点**

- 申請資格が志願者数「年間累計80名」から「各回30名」に下がり、ご申請いただきやすくなります。
- ご希望に応じて、賞状に団体名、学校長等の授与者名、受賞者名を印字してお届けします。
※印字なしの賞状をお選びいただき、団体内でご記入いただくこともできます。
- 副賞の内容が変わります。



イメージ

申請資格	漢検の団体受験(紙の検定*1)、漢検オンライン(*2)の団体受験の <u>同一回内</u> の志願者数が合計30名以上であること		
	*1【紙の検定:検定回】 第1回(6~7月)、第2回(8~11月)、第3回(1~2月) *2【漢検オンライン受験日】 4月1日~ 7月31日 → 第1回の検定分として申請可 8月1日~11月30日 → 第2回の検定分として申請可 12月1日~ 3月31日 → 第3回の検定分として申請可		
申請時期	各回検定申込後~当該年度の3月31日まで ※各回の申込人数が確認できた後にお送りします。 同一回の複数日程の合算で申請される場合は、全日程の申込完了後にご申請ください。		
1セットあたりの内容物	賞	正賞(賞状)	
	最優秀賞	1枚	賞状は各賞の申請可能枚数の範囲内で希望数を申請できます
	優秀賞	2枚まで	
	努力賞	3枚まで	
1セットあたりの内容物			副賞
			文具またはグッズ
			最大6個
			※正賞と同数
申請可能数	各回30名につき1セット(各回上限6セットまで)		
発送時期	申請から約1週間~10日ほどで発送予定(各回の申込人数が確認できた後にお送りします) ※年末年始やお盆、祝日など変則となることがあります。発送スケジュールは「団体サポートサイト」の「検定実施サポートツール>結果返却」ページに掲載します。 ※送付に関わる業務の一部を発送代行業者に委託する場合があります。		

受賞者選定の基準例

- ・最上級の最高得点者
 - ・大幅に得点がアップした受験者
 - ・継続して受験を続ける受験者
 - ・合格率が最も高かったクラス
- など、合否にかかわらず、各団体が独自の基準で表彰することができます。



申請方法

団体サポートサイトのWEBフォームからご申請いただけます。

漢検 団体サポートサイト 各種制度申請 検索

※WEBフォームからの申請が難しい場合は協会までお問い合わせください。



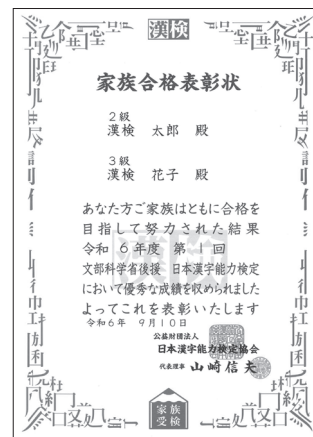
WEB
フォームは
こちら

家族受検表彰制度

「家族受検表彰制度」とは、家族で受検し合格された場合、個別の合格証書に加えて「家族合格表彰状」を贈呈する制度です。

申請資格

- 1 申請者全員が家族・親族であること
※同居の必要はありません。
※表彰状は各回一家族1枚のみ発行します。同一人物の名前を複数の表彰状に記載することはできません。ご家族が複数日程に分かれて受検される場合は、ご家族全員の可否が判明した後に申請してください。
- 2 申請者全員が同年度同回において漢検1～10級のいずれかに合格していること
※対象となる受検形態は紙での個人受検・団体受検、CBT受検です。
(漢検オンラインは個人・団体受検いずれも対象外です。)
- 3 申請者数が2名以上6名以下であること
※複数の級に合格されている場合、合格者はのべ人数で数えます
(例:2級と準2級に合格した場合、合格者は2名とみなします。
ただし、同一人物が1名だけで申請することはできません。)



※イメージ

申請方法

■WEBフォーム ※団体ご担当者様専用

団体サポートサイト内のWEBフォームから申請する。



POINT

- ・受付期間は24時間申請可能です。
- ・1申請ごとに受付完了メールが届きます。

■FAX または 郵送

- ①「家族合格表彰状 申請書」が検定結果資料とともに団体担当者宛に届く。
※「団体専用ページ」や漢検ホームページからもダウンロードできます。
- ②必要事項を記入し、申請締切日までにFAXまたは郵送する。

<注意事項>

- ご申請の際は、認証番号が必要です。認証番号は、合格証書の左端もしくは受検結果名簿の備考欄に記載されている11桁の英数字です。
- WEBフォームからご申請の場合は、1回の申請につき、一家族の申請となります。
FAX、郵送でご申請の場合は、申請書1枚につき、一家族の申請となります。

申請締切と送付時期の目安

検定	申請締切	送付時期
第1回	9月上旬	9月下旬
第2回 夏	11月上旬	11月下旬
第2回 秋	1月中旬	2月上旬
第3回	4月下旬	5月中旬

※申請締切日は「家族合格表彰状 申請書」でご確認ください。

各種制度についてのQ & A

Q.45～Q.47

Q.45 (表彰支援制度)第2回の8月検定と10月検定で合計200名の志願者がいます。最大6セットもらえますか？

A

はい。6セットをご申請いただけます。各回の申込人数が確認できた後にお送りしますので、10月検定のお申し込み完了後にご申請ください。

Q.46 (表彰支援制度)第1回と第2回の志願者を合計すると30名以上になります。1セットもらえますか？

A

いいえ。「当該年度の累積」ではなく、「各回あたり」の志願者30名以上で申請が可能です。
※第1回(6～7月)、第2回(8～11月)、第3回(1～2月) ※漢検オンラインの各回対象期間はP.25をご参照ください。

Q.47 (表彰支援制度)第1回の6月検定(紙の検定)で20名、漢検オンラインで4月～7月に10名、合計30名で申し込んでいます。1セットもらえますか？

A

はい。1セットをご申請いただけます。
※漢検オンラインの各回対象期間はP.25をご参照ください。

特別欠席制度はWEB申請が可能です。

特別欠席制度について

申請締切日 検定日 10 日後

団体受験欠席者のうち、【表】の欠席理由に該当すると認められた欠席者の受験機会を、同一団体・同一検定(漢検)内での受験に限り、次回^{*}以降に繰り越すことができる制度です。 ※欠席した検定日と締切日の間が3週間未満の日程を除く

この制度を利用するには、必要書類を申請締切日(検定日10日後)までにご提出のうえ、協会の承認を得る必要があります。提出された書類に不備がある場合や、協会での審査の結果、欠席理由に該当しないと協会が判断した場合は、受験機会を繰り越すことはできません。あらかじめご了承ください。

●【表】特別欠席の対象となる欠席理由 (前提条件:申し込まれた検定日の協会締切日より後に欠席することが決定した場合に限る)

	欠席理由	詳細	必要書類	留意事項
1	忌引き	葬儀・通夜のみ適用(親等・日数の適用範囲は各団体の定める基準に準ずる。法事は対象外)	特別欠席申請書(P.30) (WEB申請の場合は不要)	
2	感染症	学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症に感染し、検定当日出席停止となった場合(P.28のQ.51参照) 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・検定日が出席停止の期間と重なっていない場合 ・風邪、骨折など上記規則に定められていないその他の傷病 ・本人が感染していない場合 ※感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス等)により休校・学年閉鎖・学級閉鎖となった場合は、本人が感染していなくても同一団体・同一検定(漢検)内での受験に限り、欠席者の受験機会を次回以降に繰り越します。申請方法や必要書類につきましては、P.28のQ.52をご覧ください。	※特別欠席/同意書は協会への提出不要ですが、欠席理由の通知および必要時の診断書提出について欠席者・保護者からの同意を示す大切な資料です。特別欠席申請の際は引き続きお取りまとめいただき、結果送付の時期まで(繰越権利の付与が確認できるまで)保管いただくようお願いいたします。	・病名だけで判断しかねる場合、診断書のご提出をお願いすることがあります。
3	公式大会への出場	【申請条件】《下記、3項目をすべて満たしている場合に限る》 1.大会主催者が、国・地方自治体、および全国的に組織された団体であること (公財)日本スポーツ協会、(公財)全国高等学校体育連盟、(公財)日本中学校体育連盟、(公社)全国高等学校文化連盟、教育委員会など 2.検定当日に在籍している学校の代表として出場する場合 3.申し込まれた検定日の協会締切日より後に大会出場が決定した場合 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・監督・コーチなど引率の教職員、保護者など生徒以外の欠席者 ・大会要項に記載のない補欠・マネージャーなど選手以外の欠席者 ・親善試合・練習試合など一日限りのもの、市内大会など限られた地域内の試合で上位大会につながらないもの、強化合宿、記録会 ・習い事やクラブチームで個人的に出場する場合 ・正規の部活動ではなくサークル・同好会からの出場	特別欠席申請書(P.30) (WEB申請の場合は不要) 2025年度より、大会要項の協会への提出は不要です。 変更点	
4	入試・就職試験・外部(就職先・進学先など)の実習	その試験・実習に参加しなければ、進級・進学・就職ができない場合 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・体育祭や補習、追試など校内で日程を決めるもの(P.29のQ.56参照) ・オープンキャンパスや進路相談会など任意参加のもの	特別欠席申請書(P.30) (WEB申請の場合は不要) + 試験・実習の概要が確認できる文書 ^(※1)	(※1) (下記1~3は必須項目) 1.試験・実習の概要 2.文書発行者 3.試験・実習の日時

●「特別欠席」申請から承認までの流れ

- 1 申請に必要な書類を申請締切日までに協会へ提出する。
・検定日以前にわかっている場合はなるべくお早めにご申請ください。
・申請はWEB申請フォームもしくはFAX、郵送でお願いします。
- 2 協会にて審査を行う。
・承認されなかった場合は、申請後2週間以内に電話にてご連絡いたします。
※申請後2週間たっても協会からの連絡がない場合、申請いただいた内容で承認されています(3をご覧ください)。
※2023年度より、FAXによる承認結果のお知らせはございません。
- 3 「団体専用ページ」から繰越者の情報が確認できるようになる(結果送付日から)。
・今回承認された繰越者のみでなく、過去に繰り越しの権利を取得し、有効期限内の未行使権利をもつ繰越者も確認することができます。
・画面上で確認するだけでなく、繰越者に通知するための「繰越通知書」を印刷することもできます。
※申請され、非承認の連絡がなかったにもかかわらず、繰越者の情報(氏名)が表示されていない場合は、検定結果資料到着から1か月以内に協会までお問い合わせください。

●繰越者を含む申込方法はP.10をご参照ください。

申請締切日 検定日から10日後

申請方法

WEB



申請フォームからご申請いただけます。
「漢検 団体サポートサイト」
<https://www.kanken.or.jp/dan-sprt/>
→各種制度申請、お問い合わせ→特別欠席制度のご申請について
「入試・就職試験・外部(就職先・進学先など)の実習」の申請に必要な書類は、ひとつのPDFファイルにまとめ、申請時に添付してください。

FAX番号 075-532-1110

※郵送の場合は、封筒の表に「特別欠席申請」と明記し、協会本部(京都)宛にお送りください。

特別欠席が承認された欠席者のことを以降「繰越者」と呼びます。

繰越期限 欠席した検定日より約1年
(次年度同一検定回の最終日程まで)

2025年1月25日(土)検定で承認された場合は、2026年2月15日(日)検定まで使用可能

特別欠席についてのQ & A

Q.48 ~ Q.61

Q.48 検定を申し込んだ後、協会の申込締切日までに欠席が判明した場合はどのようにしたらよいですか？

A 準会場受検申込またはインターネット(団体専用ページ)で申し込まれた団体公開会場受検申込に限り、協会の申込締切日当日までは志願者の取り消しが可能です。このため、協会の申込締切日までに欠席が判明した場合は、審査の対象外です。
※団体公開会場受検を郵送で申し込まれた場合は、申込後は一切変更できません。

申込方法	準会場受検		団体公開会場受検	
	インターネット	郵送／FAX	インターネット	郵送
検定申込後～協会の申込締切日まで	志願者の取り消しが可能(※1)			申込内容変更不可(※2)
申込締切日 翌日以降	申込内容変更不可(※2)			

※1＝協会の申込締切日までに欠席が判明した場合は特別欠席の対象外です。取消方法はP.13のQ.14をご覧ください。

※2＝P.27【表】の欠席理由に該当する場合は特別欠席の申請をしてください。

Q.49 申請をすれば必ず承認されますか？

A すべてが承認されるわけではありません。申請書類をもとに、協会にて審査を行います。その結果、学校が公欠と認めている理由でも承認できない場合があります。
※承認されなかった場合は、申請後2週間以内に電話にてご連絡いたします。

Q.50 申請書類が申請締切日(検定日10日後)までにそろいません。(申請書類の一部を先に送ってもよいですか？)

A 申請締切日までに協会へご連絡いただいた場合に限り、手続きに間に合う範囲で受け付けます。申請書類は必ずまとめて提出してください。行き違いの原因となりますので、申込書類を複数回に分けて提出しないでください。また、事前のご連絡がないまま、申請締切日を過ぎて書類が到着した場合、審査対象外となる場合があります。
※締切日までの提出が間に合わない場合は、締切日までにお問い合わせ窓口メールフォームからご連絡ください。

Q.51 学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症とはどのようなものですか？

A 以下の第一種から第三種に該当する感染症のことを指します。

第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、バスタ、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。))及び特定鳥インフルエンザ(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成十年法律第百十四号)第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。)
第二種	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。次条第二号チにおいて同じ。)、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、マイコプラズマ感染症 など)

Q.52 天災や感染症(例：インフルエンザ、新型コロナウイルス)などにより、休校・学年閉鎖・学級閉鎖になった場合はどのようにしたらよいですか？

A 天災や感染症(例：インフルエンザ、新型コロナウイルス)などにより、欠席または検定の実施が不可能になった場合は、同一団体・同一検定(漢検)内での受検に限り、欠席者の受検機会を次の検定回以降に繰り越せます。申請方法や必要書類につきましては、休校・学年閉鎖・学級閉鎖などが決定した時点で協会までお問い合わせください。
※繰越期限は承認された検定日より約1年間(次年度同一検定回の最終日程まで)です。

また、天災などの影響で受検者が安全に検定会場へ来ることが困難な場合は、協会までお問い合わせください。ただし、いかなる事情でも、届いた問題用紙を用いて検定日以外の日に検定を実施した場合は、受検者全員が失格となりますのでご注意ください。

⚠ 天災等が発生した場合、漢検ホームページ「お知らせ」に対応方法を掲載することがあります。

Q.53 外部施設(児童相談所での一時保護や民間シェルター等)にいるため、検定日当日に検定会場へ来られない受検者がいます。審査対象になりますか？

A 申請締切日までに協会へお問い合わせください。

Q.54 校内の選手選考が協会締切日後だった場合も、審査対象になりますか？

A 審査の対象となります。いつ校内選考が行われたかを顧問の先生にご確認のうえ、大会に出場することが決まった日を記入ください。

Q.55 開会式や移動日は審査対象になりますか？

A 審査の対象となります。審査の過程において、開会式への出席や前日移動を証明できるもの(宿泊証明など)のご提出をお願いすることがあります。

Q.56 欠席理由4「入試・就職試験・外部の実習」には、校内の定期試験なども含みますか？

A 含みません。校内での定期試験、実習や定期試験の追試などは、進級・卒業要件であっても、学校行事と同様に審査対象外です。おそれいりますが、校内でのスケジュール調整をお願いいたします。

Q.57 欠席理由4における試験・実習の概要が確認できる文書とは、どのような内容があればよいですか？

A 検定日と試験や実習などの日程が重なっていることを証明する文書が必要です。試験や実習への参加を要請する内容で、文書の発行者と試験や実習日時の記載がある書面をご用意ください。

Q.58 卒業(転校)する場合は、進学先(転校先)の学校へ繰り越せるのですか？

A 繰り越しできません。繰り越しの権利は、同一団体で受検する場合のみ有効となります。個人受検や会場番号が異なる団体への繰り越しもできません。

Q.59 同じ検定回の中で繰り越すことはできますか？

A 欠席した検定日と繰越受検を希望する検定日の協会締切日の期間が3週間以上あれば、検定回に関係なく繰り越しが可能です。
×第1回7月4日(金)で欠席→第2回8月21日(木)検定に繰り越し
○第2回8月21日(木)で欠席→10月24日(金)検定に繰り越し

Q.60 申請者が5名以上いる場合、申請書にはどのように記入すればよいですか？

A 5名以上いる場合は検定日・団体情報の記入と各責任者の署名をした申請書をコピーして使用してください。または、申請書の名前の欄に「別紙参照●名申請」と記入し、申請者の一覧を添付してください。
※一覧を作成する場合は、**申込級** **名前** **フリガナ** **生年月日** **欠席理由** をもれなく記入してください。
また、複数ページにまたがる場合は、各ページの1行目に見出し(タイトル行)を記載してください。

Q.61 検定を申し込む際、繰越者の受検級を変更できますか？

A できます。繰越者が受検級を変更する場合の検定料や繰越者を含む申込方法はP.10、P.24のQ41をご確認ください。

重 要

漢検®

特別欠席申請書

申請日 年 月 日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 行

下記検定日を欠席した志願者のうち、特別欠席に該当する理由で欠席することが、協会締切日後に判明した者の受検機会を当団体における次回以降の検定へ繰り越すことを申請します。



WEB申請
フォームは
こちら

検定日			
年度	第	回	月 日 ()

・申請書と申込時の内容が異なる場合は、申込時の内容で登録いたします。
 ・当日出席をされた場合は、承認を取り消します。
 ・繰り越しの有効期限は、次年度同一検定回の最終日程までとなります。
 ・次回申込時には、繰越者を含め、規定人数(10名)が必要です。繰越者を含めて申し込む場合、必ず志願者情報「有」でお申し込みください。
 ・欠席後、3週間以内に締切日のある日程には繰り越せません。
 ・繰り越し不可の例＞第1回7月4日(金)検定→第2回8月21日(木)検定
 ※8月21日(木)検定の協会必着締切日は、郵送・FAX申込…7月22日(火)、インターネット申込…7月25日(金)であり、欠席後3週間未満のため

特別欠席申請者			承認 ※協会使用欄
申込級	名前 (「フリガナ」「生年月日」も必須項目です)	欠席理由 (○をつけてください)	
級	フリガナ	1.忌引き	
	生年月日 西暦 年 月 日	2.感染症(病名:) 3.公式大会 (大会名: 出場が決まった日:) 4.入試・実習(参加が決まった日:)	
級	フリガナ	1.忌引き	
	生年月日 西暦 年 月 日	2.感染症(病名:) 3.公式大会 (大会名: 出場が決まった日:) 4.入試・実習(参加が決まった日:)	
級	フリガナ	1.忌引き	
	生年月日 西暦 年 月 日	2.感染症(病名:) 3.公式大会 (大会名: 出場が決まった日:) 4.入試・実習(参加が決まった日:)	
級	フリガナ	1.忌引き	
	生年月日 西暦 年 月 日	2.感染症(病名:) 3.公式大会 (大会名: 出場が決まった日:) 4.入試・実習(参加が決まった日:)	

欠席者が上記の理由により欠席したことを証明します。

会場番号

団体名

団体責任者名 (★)

実施責任者名

電話番号

★学校は学校長、塾は塾長など、組織の代表者の方のご署名をお願いします。

同じ方の場合でも、お手数ですが両方へのご署名をお願いします。
 申請者が5名以上いる場合は、ご署名したものをコピーしてください。

協会使用欄

原本は「団体専用ページ」で繰越者の情報を確認するまで大切に保管してください。

申請先FAX番号 075-532-1110

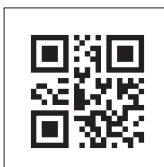
送付先住所 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 行

(封筒の表に「特別欠席申請」と明記ください)

※FAXで提出した場合、郵送の必要はありません。

以下の事項について志願者の同意を得たうえでご提出ください。
 ・ご記入いただく要配慮個人情報を含む個人情報は、申込団体を経由して弊協会に届きます。
 ・弊協会では、これらの個人情報を「特別欠席」に関わる業務にのみ使用し、目的外には利用しません。
 (ただし、検定に関わる業務に際し、業務提携会社に委託する場合があります)
 ・個人情報のご記入は任意ですが、必要な箇所への記入がない場合や同意をいただけない場合は、特別欠席の承認をすることができない場合がありますので、ご注意ください。
 ・ご記入いただきました個人情報に関する開示、訂正等お問い合わせは、下記の窓口へお願いいたします。
 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 個人情報保護責任者 事務局長
 個人情報相談窓口 https://www.kanken.or.jp/privacy/



受付処理用コード

25.1



特別欠席／同意書

(特別欠席「忌引き」「学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症」用)

◆特別欠席制度とは

「忌引き」や「学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症」への感染で検定日に欠席した場合、**団体受検での申し込みに限り**、受検機会を次回以降に繰り越すことができる制度です。この制度を利用するには検定日から10日以内に、必要書類を**団体を通じて**(公財)日本漢字能力検定協会に提出し、協会の承認を得る必要があります。

※繰り越しの権利は欠席した検定日より約1年間有効です。

※特別欠席が承認された場合、繰り越しの権利は承認された団体での受検に限り利用できます。

異なる団体での団体受検や個人受検への振り替えはできません。

※個人受検には特別欠席制度はありません。



受付処理用コード

＜漢検ご担当者様へ＞

本書面は欠席理由の通知および必要時の診断書提出について欠席者・保護者からの同意を示す大切な資料です。**協会への提出は不要ですが、特別欠席申請の際は引き続きお取りまとめいただき、結果送付の時期まで保管いただくようお願いいたします。**

＜受検者および保護者のみなさまへ＞

・16歳未満の方は、保護者の同意を得たうえでご提出ください。

・ご記入は任意ですが、必要な箇所へのご記入・ご捺印がない場合や同意をいただけない場合は、特別欠席の承認をすることができない場合がありますので、ご注意ください。

【ご家庭記入欄】

同意書

私は、以下の理由のため、今回の日本漢字能力検定を欠席したことを、公益財団法人 日本漢字能力検定協会へ伝えることに同意します。また、欠席理由が「学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症」の場合は、公益財団法人 日本漢字能力検定協会より求められれば、診断書(*)の提出にも同意します。

漏れなく
ご記入ください。

欠席理由 **当てはまる欠席理由の番号に○をつけてください。**

① 忌引き

② 学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症(病名: _____)

記入日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

(フリガナ)
本人署名 : _____ 印

今回申し込んだ級 : _____ 級

生年月日 : _____ 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 歳)

16歳未満の場合は、
保護者のご署名・ご捺
印が必要です。

保護者署名 : _____ 印

「漢検」検定日当日のご案内

この度、**日本漢字能力検定(漢検)** 級 の申し込みを受け付けました。下記に検定日当日の注意事項や検定時間、持ち物などについて書かれていますので熟読してください。検定日当日もこの用紙を持参してください。

先生からのひとこと

記

■漢検 検定日 年 月 日 ()

■検定会場

■検定時間 ▶ 検定に関する諸注意の説明があるため、各級ともに**検定開始の20分前には着席**してください。

2級	時 分～ 時 分 (60 分間)	6級	時 分～ 時 分 (60 分間)
準2級	時 分～ 時 分 (60 分間)	7級	時 分～ 時 分 (60 分間)
3級	時 分～ 時 分 (60 分間)	8級	時 分～ 時 分 (40 分間)
4級	時 分～ 時 分 (60 分間)	9級	時 分～ 時 分 (40 分間)
5級	時 分～ 時 分 (60 分間)	10級	時 分～ 時 分 (40 分間)

■持ち物 鉛筆またはシャープペンシル(HB・B・2B)、消しゴム

■当日の注意事項 ▶ 必ず確認してください。

- ①受検票はありません。当日、この『「漢検」検定日当日のご案内』を持参してください。
- ②検定終了後、問題用紙は回収し、後日返却します。
- ③遅刻の場合、検定時間の半分までに入室すれば、残り時間での受検が可能ですが、検定時間の半分を過ぎてからの入室は認められず、欠席となります。
- ④同じ検定日の同じ級を、違う会場(学校と塾など)で重複して受検することはできません。
- ⑤「漢検」は公的な資格検定であり、厳正かつ公平な実施が求められます。検定中における以下の行為は**失格**となり、採点対象となりません。くれぐれも注意してください。



- ・携帯電話やその他電子機器の使用(時計代わりの使用も含む)
- ・参考書、問題集などを見ること
- ・監督者の許可なく、荷物に触れること

※ 当日欠席した場合は、後日、問題用紙を渡します。検定料は返金できません。

■合否結果などに関して

- 検定日の約5日後から漢検ホームページにて標準解答が公開されます。
- 検定の合否結果は、受検者全員に渡す「検定結果資料」で確認してください。

以上

学校名・団体名		年 組 番
フリガナ		生年月日
名前		(西暦) 年 月 日

ご希望の受検級の検定料と教材の金額を○で囲んでください。(円)

級	1	準1	2	準2	3	4	5	6	7	8	9	10
準会場検定料			3,500	2,500	2,500	2,500	2,000	2,000	2,000	1,500	1,500	1,500
公開会場検定料	6,000	5,500	4,500	3,500	3,500	3,500	3,000	3,000	3,000	2,500	2,500	2,500
漢字学習ステップ(A5判)			1,320	1,100	1,100	1,100	990	990	990	990	990	990
漢字学習ステップワイド版(B5判)									1,100	1,100	1,100	1,100
いちまるとはじめようわくわく漢検							825	825	825	825	825	825
過去問題集	1,430	1,430	1,320	1,210	1,210	1,100	990	990	990	990	990	990
実物大過去問本番チャレンジ!	990	990	880	880	880	770	770	770	770	770	770	770
分野別問題集	1,540	1,430	990	990	990	990						
クイックスタディ			1,100	1,100	1,100	1,100						
漢字学習トレーニング3/準2/2級			748									
漢字学習トレーニング5/4/3級				748								
実力完成ドリルステージ			550	550	550	550	550	550				
10日間でできる練習問題			495	495	495	495	495	495				
漢検 漢字辞典第二版	3,630						3,080					1,870
漢検 四字熟語辞典												

* 検定料・教材の金額には消費税(10%)が含まれています。
* つり銭のないようにお願いします。

検定料と教材代金の合計(A)	円	領収印
封筒に入れたお金(B)	円	
おつり(B-A)	円	

コピー

団体受検申込書在中

(公財)日本漢字能力検定協会
団体受検申込受付係 行

送付書類の入れ忘れはないですか?	チェック
① 団体受検申込書(No.1,2)	
② 《準会場受検》 準会場用申込用紙B(協会行) ※志願者情報「なし」で申し込む場合は不要	
《団体公開会場受検》 公開会場用願書	

キリトリ

キリトリ

付録

コピーしてご利用ください!

集金袋作成ラベル

検定料や協会発行問題集の代金を集金する際に便利です。
封筒に貼るなどして、ご利用ください。
問題集の詳細、注文方法は「漢検の教材カタログ」をご覧ください。

宛名ラベル

申込書類を郵便でお送りいただく際に、宛名ラベルとしてご利用ください。
※宅配便の場合はご利用いただけません。各社専用の宅配伝票に直接ご記入ください。

特別欠席申請書 P.30

特別欠席の申請をする場合に、ご利用ください。

同意書 P.31

忌引き・感染症での特別欠席申請の際に必要です。
該当受検者にお渡しください。

「漢検」検定日当日のご案内 P.32

検定日当日の時間や会場の告知に便利です。当日のスケジュールをご記入のうえ、コピーして受検者へお配りください。拡大コピーをすると会場用ポスターとしてもご利用いただけます。

和暦・西暦対応表

和暦	西暦
平成19年	2007年
平成20年	2008年
平成21年	2009年
平成22年	2010年
平成23年	2011年
平成24年	2012年
平成25年	2013年
平成26年	2014年
平成27年	2015年
平成28年	2016年
平成29年	2017年
平成30年	2018年

結果到着後の氏名訂正依頼書

検定結果資料到着後

検定結果資料の氏名が間違っている場合は…

下部の「氏名訂正依頼書」に必要事項をご記入のうえ、訂正を希望される書類のみを冊子から切り離し、ともにお送りください。訂正のうえ再発行いたします。

ただし、氏名には漢字・ひらがな・カタカナ以外の文字をお使いいただくことはできません。

訂正希望書類が協会に到着後、約1週間で訂正した結果資料を協会より発送いたします。

ただし、場合により1週間以上かかることがあります。

再発行の場合、検定結果資料は1点ずつ分かれた状態で送りします(冊子の形状ではありません)。

※検定日当日に氏名訂正依頼をした場合、受検者に検定結果資料を配付する前に必ず、正しい氏名に訂正されているかどうかを確認してください。申請どおりに訂正がなされていない場合、その時点では受検者には配付せず、速やかに協会までご連絡ください。

氏名訂正依頼の手順

例) 検定結果資料・合格証書(または満点合格証書)・合格証明書の3点を氏名訂正依頼する場合



① 検定結果資料の冊子から訂正を希望する書類を切り離す。



※必ず、「訂正が必要な書類だけ」を冊子から切り離してください。

② 「氏名訂正依頼書」に必要事項を記入し、切り離した訂正希望書類とともに協会へ送る。

※氏名訂正を依頼しないページは送付しないでください。ご返却はいたしかねますのでご了承ください。

★訂正を希望する字に○をつけてください			
フリガナ	姓	名	
訂正前	漢 検	太郎	
フリガナ	姓	名	
訂正後	漢 検	太朗	

※「氏名訂正依頼書」の「⑤氏名」の欄は必ず訂正を希望する字に○をつけてください。

氏名訂正手続き

検定結果資料が団体に到着してから1か月以内に、点線右部の「氏名訂正依頼書」の記入項目①～⑥を記入し、項目⑥でチェックをした検定結果資料の訂正希望書類とともに協会へ返送してください。

訂正希望書類が協会に到着した後、1週間前後で訂正した書類を協会より団体へ発送いたします。

※受検者ご本人様へ直接お届けすることはできません。

※再発行した検定結果資料の各書類は、1点ずつ分かれた状態で送りいたします(冊子の形状ではありません)。

※**冊子ごと返送された場合、訂正希望書類以外のページのご返却はいたしかねます。ご了承ください。**

氏名訂正依頼書類をお送りいただく際に、宛名ラベルとしてご利用ください。

キリトリ

〒 605-0074

京都市東山区祇園町南側551番地

(公財) 日本漢字能力検定協会
CS推進部 団体係 行

氏名訂正依頼書類在中

送付する書類にチェックをしてください。

- ☐ 合格証書または満点合格証書
- ☐ 合格証明書
- ☐ 検定結果通知

キリトリ

検定結果資料		氏名訂正依頼書	
①	ご記入者		
②	検定日	年	月 日
③	会場番号		
④	受検番号		
⑤	氏名	★訂正を希望する字に○をつけてください	
		フリガナ	姓 名
		訂正前	
		フリガナ	姓 名
訂正後			
⑥	訂正希望書類 (該当する書類にチェックをしてください)		
☐ 合格証書または満点合格証書		☐ 合格証明書	
☐ 検定結果通知			

合格証書

合格証明書

検定結果通知

※上記でチェックをしたすべての書類を、検定結果資料の冊子から切り取り、本依頼書とともに協会へ送り返してください。

※チェックをしていても書類が返送されていない場合は、再発行ができませんのでご注意ください。

※冊子ごと返送された場合、訂正希望書類以外のページのご返却はいたしかねます。



漢検® 団体受検ハンドブック Q&A索引

準備から申し込みまでのQ & A	11～15ページ
準 備	11ページ
Q.1 検定日は自由に決められますか？	
Q.2 同一回の検定を2つ以上の検定日で実施することはできますか？	
Q.3 志願者全員が同じ級でなければいけませんか？	
Q.4 受検級の併願はできますか？	
Q.5 同じ受検者が学校と塾など2つ以上の会場で受検できますか？	
Q.6 保護者などが在籍者以外の方も受検できますか？	
Q.7 受検級はどのように決めればよいですか？	
Q.8 校内締切日はいつにしたらよいですか？	
申し込み	12～13ページ
Q.9 志願者募集の際に使う案内文書は独自に作成したものでよいですか？	
Q.10 「団体専用ページ」のパスワードがわかりません。どのようにしたらよいですか？	
Q.11 準会場実施を予定していますが、公開会場での受検(1級・準1級など)を希望する志願者が1名います。どのように申し込めばよいですか？	
Q.12 生徒の名簿データを活用して、インターネットで申し込むことはできますか？	
Q.13 協会へ送付する志願者の一覧は独自に作成したものでよいですか？	
Q.14 申込間違い(受検級の間違い／申込漏れ)が判明しました。申込内容の変更はできますか？	
Q.15 塾でいくつか教室を持っています。複数の教室を合わせると10名以上集まりそうですが、準会場として申し込みますか？	
検定料の支払い	14～15ページ
Q.16 申込時に「検定料総額を支払う」(または「事務連絡費・準会場実施経費を差し引く」)を選択しましたが、後から変更できますか？	
Q.17 検定料控除制度の事務連絡費・準会場実施経費のいずれかのみ、または必要な経費分だけ控除金を受け取ることはできますか？	
Q.18 経理上、特別な書類が必要です。 ・協会の公印が押印された請求書を発行してください ・(学年ごとなど)請求書を分けて発行してください ・見積書・納品書を発行してください	
Q.19 銀行振込で入金することはできますか？	
Q.20 複数の会場の検定料を合算して入金することはできますか？	
Q.21 請求書兼払込票(専用の払込票)が届きません。	
Q.22 領収書を発行することはできますか？	
Q.23 請求書が届きましたが、内容が間違っています。	
実施についてのQ & A	18～19ページ
Q.24 問題・答案用紙はいつ送られてきますか？	
Q.25 問題・答案用紙はどのような形状になっていますか？	
Q.26 天災や感染症(例：インフルエンザ、新型コロナウイルス)などにより、休校・学年閉鎖・学級閉鎖になった場合はどのようにしたらよいですか？	
Q.27 欠席をした場合はどうなりますか？	
Q.28 検定は級ごとに違う教室で実施しなければいけませんか？	
Q.29 学校で検定を実施するにあたり、行政へ提出する書類が必要です。どのようにしたらよいですか？	
Q.30 会場設営においてどのような点に注意すればよいですか？	
Q.31 申込間違い(氏名・生年月日・学年・組(クラス)などの表記の間違い)がありました。どのようにしたらよいですか？	

Q.32 申込間違い(受検級の間違い／申込漏れ)をしていた受検者がいます。どのようにしたらよいですか？	
結果についてのQ & A	22ページ
Q.33 「団体専用ページ」のパスワードはどのようにしたらわかりますか？	
Q.34 合格証書の日付はどこで確認できますか？	
Q.35 インターネット(団体専用ページ)の合否結果に表示されている名前が「●」に置き換えられているのはなぜですか？	
Q.36 「令」なのに「令」となっています。(「怜、玲、鈴」等の「令」を含む漢字も同様)	
Q.37 インターネット(団体専用ページ)で合否結果が見られません。	
Q.38 1人だけ検定結果資料の冊子が見当たりません。	
Q.39 合格証明書を再発行できますか？	
団体公開会場受検についてのQ & A	24ページ
Q.40 同じ日に準会場受検でも申し込みをしたいです。両方申し込みますか？	
Q.41 志願者の中に繰越者がいます。申し込みにあたっての注意点はありますか？	
Q.42 個人受検とは違うのですか？	
Q.43 志願者によって希望地区が異なっても問題ありませんか？	
Q.44 申込間違い(受検級の間違い／申込漏れ)が判明しました。申込内容の変更はできますか？	
各種制度についてのQ & A	26ページ
Q.45 (表彰支援制度)第2回の8月検定と10月検定で合計200名の志願者がいます。最大6セットもらえますか？	
Q.46 (表彰支援制度)第1回と第2回の志願者を合計すると30名以上になります。1セットもらえますか？	
Q.47 (表彰支援制度)第1回の6月検定(紙の検定)で20名、漢検オンラインで4月～7月に10名、合計30名で申し込んでいます。1セットもらえますか？	
特別欠席についてのQ & A	28～29ページ
Q.48 検定を申し込んだ後、協会の申込締切日までに欠席が判明した場合はどのようにしたらよいですか？	
Q.49 申請をすれば必ず承認されますか？	
Q.50 申請書類が申請締切日(検定日10日後)までにそろいません。(申請書類の一部を先に送ってもよいですか？)	
Q.51 学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症とはどのようなものですか？	
Q.52 天災や感染症(例：インフルエンザ、新型コロナウイルス)などにより、休校・学年閉鎖・学級閉鎖になった場合はどのようにしたらよいですか？	
Q.53 外部施設(児童相談所での一時保護や民間シェルター等)にいたため、検定日当日に検定会場へ来られない受検者がいます。審査対象になりますか？	
Q.54 校内の選手選考が協会締切日後だった場合も、審査対象になりますか？	
Q.55 開会式や移動日は審査対象になりますか？	
Q.56 欠席理由4「入試・就職試験・外部の実習」には、校内の定期試験なども含まれますか？	
Q.57 欠席理由4における試験・実習の概要が確認できる文書とは、どのような内容があればよいですか？	
Q.58 卒業(転校)する場合は、進学先(転校先)の学校へ繰り越せるのですか？	
Q.59 同じ検定回の中で繰り越すことはできますか？	
Q.60 申請者が5名以上いる場合、申請書にはどのように記入すればよいですか？	
Q.61 検定を申し込む際、繰越者の受検級を変更できますか？	